

初の市全体での成人式。懐かしい顔ぶれに笑顔の新成人の皆さん。多くの方が出席し晴れの門出を祝いました。(記事 15頁)

CONTENTS No.25

・ 2007を振り返る・・・04	・ エコ通信・・・16	・ 市からのお知らせ・・・35
・ まちの話題・・・08	・ 教育委員会情報ネット・22	・ 暮らしのカレンダー・40



新年賀詞

明けましておめでとうございます。皆様には平成20年の新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

志布志市が誕生しまして3年目を迎えることとなりました。新市発足以来、今日まで市民並びに関係各位の暖かいご支援とご協力を賜り深く感謝いたしております。

昨年は、市民と行政が一体となつて活力と魅力あるまちづくりに取り組むための市政の総合的な指針となる、第一次志布志市振興計画を策定いたしました。また4月24日を「しぶしの日」として定め、「高い志」と「慈愛の精神」により「志のあふれるまちづくり」を推進するため「志のまち」を宣言したところです。

「志」とは市民一人ひとりが心に何かを決めて目指すこととであり、それぞれの夢や目標の実現に向けて努力することであり、向上心でもありません。私たちは心身ともに健全で豊かな生活を願ひ、そして根底には「みんなが幸せでありたい」「みんなを良くしたい」「社会全体が良くありたい」という想いを持っている

と思います。

人間国宝の推薦が決まっていたのを自分から「そんなものはいらない」と断られた陶芸家の河井寛次郎さんの言葉に「一人光る、みな光る、なにもかも光る」というのがあります。志布志市民で、まず一人ひとりが、みんなのために蛍の光のような小さな灯をつけ、この灯をともし続ける。そして一人が輝き続ければ必ずその光をもとにして周囲にその光を求めてくる人が出てくる。また集まってきた人が今度は自ら光り輝けば、いつの間にか全部を光り輝かせることができるというものです。

今市民の中で、様々な方面からまず自らの一灯をといふことで「志」の灯火をともしていたいただき、共生・協働・自立のまちづくりに立ち上がった下さる方が続々と現れてきています。誠にありがたく思い深く感謝するところです。今年はこの流れがさらに大きく広がり、志布志市全体に広がり、まち全体が輝くことを願うところです。

一昨年からの課題でありました、さんふらわあの航路変更の撤回については、まさしく市民全体の熱く大きな「志」

が発揮され、新生志布志市の一大危機を乗り切ることができたのではないかと思います。

改めてこのことにつきましては感謝申し上げます。

昨年、農業の部門でもそのような「志」の輝きが現れてきたところでした。県畜産共進会では市内農家の出品した牛がグラントチャンピオンを受賞し、全国和牛能力共進会では、部門一席に選ばれました。お茶では全国茶品評会で本市が蒸し製玉緑茶の部で5年連続となる産地賞を受賞し、県茶品評会並びに県茶経営改善コンクルの両部門では、市内の農家が農林水産大臣賞等を多数受賞するなど、若々しい力みなぎる志布志市を象徴したところです。

また志布志港新若浜地区は、本格的な国際ターミナルとして来春一部供用開始される見込みです。その港を活用するためのアクセス道路の東九州自動車道志布志IC、鹿屋串良IC間は、昨年末起工式が行われ、いよいよ着工の運びとなったところです。さらに都城志布志道路は、末吉、松山間に加え松山、有明北間も本年2月15日に供用開始される見込みです。このように

着々と進む港とアクセス道路の整備も、志布志市が光り輝く大きな源であります。

私は「市民のために、市民に開かれた、市民の目線」で行政に職員一丸となり懸命に取り組んでいるところですが、まだまだ歩き始めたばかりの新生志布志市であります。市民の皆様のご協力のもと一人ひとりの灯火がともされ、やがてまち全体の灯火へと広がり、それが大きな松明となり、輝く志布志市にならんことを願うものです。

そして新しい年が皆様方にとりまして夢と希望に満ち溢れ、幸多からん年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とします。

平成20年1月1日

志布志市長 本田修一



子年生まれの子ども達と餅つきする市長



3月18日 第2回しづしポートマラソン大会

■ 3月18日 健脚を競って『第2回しづしポートマラソン大会』

青空のもとで512人の参加者がハーフマラソン、5km、3km、ファミリーのコースを楽しみました。各コースでは3歳から5歳コースの75歳まで幅広い年齢の方が参加して自分の体力に合わせて、志布志の景色を楽しんでいました。

■ 3月21日 東九州自動車道起工式

大崎町中央公民館で東九州自動車道新直轄事業「鹿屋串良IC～大隅IC間」起工式が行われました。東九州自動車道は北九州市を起点に宮崎県を経て、志布志市を通過し、鹿児島市に至る延長436kmの高速自動車国道です。この18kmの工事区間は平成21年度の供用開始を目指し、志布志市～日南の間も早期の工事着手を目指しています。

■ 4月24日 「志のあふれるまち」志布志市を目指して「しづしの日」

4月24日、遙か海をわたり、『志のともし火』が志布志市に到着しました。そして、この『ともし火』が多くの人の手で市内をめぐりました。先人達が築いた歴史や文化を引き継ぎ、「高い志」と「慈愛の精神」による「志のあふれるまちづくり」を推進するために、市民一人ひとりが、それぞれの役割をもって、志を掲げ、行動を起こし、輝く志布志市を目指していきます。4月24日・しづしの日を記念して、市民が一体となり、力を合わせて、邁進していくことを誓い「志のまち」を宣言しました。

■ 4月29日 しづしお釈迦祭り

釈迦降誕を祝う「お釈迦祭り」が宝満寺跡公園を中心に盛大に開催されました。太鼓や踊りなど1000人を超えるパレードのほか、花嫁を背に乗せた「しゃんしゃん馬パレード」などが観客を魅了しました。また護衛艦の一般公開では体験航海とあわせて3000人の家族連れが訪れました。

■ 5月13日 第1回天然ハモまつり開催

志布志漁業協同組合で、県内一の水揚げを誇る志布志湾のハモをPRしようと『志布志漁協第1回天然ハモ祭り』が開催されました。会場は市内外から約3000人の人出でにぎわいました。

■ 5月17日 タイの市長が志布志市を訪問

タイ・コーンケン市のピラボン・パタナピラデット市長を始めとした約50人が、志布志市を訪れました。一行は、表敬訪問した後、最新の製茶工場を見学し、同社で日本茶の試飲をしました。またペットボトルや缶類の分別状況を視察しました。

■ 5月18日 志布志市の交通安全を点検

香月小学校周辺の市街地で、平成19年度春の「交通安全総点検」が行われました。「交通安全総点検」は地域や道路利用者の主体的な参加のもと道路交通環境の点検を行い、行政（道路管理者・警察）と住民、関係機関が一体となった取り組みを通じて交通安全の確保を目指して実施します。小雨の降るなか、児童や高齢者、障害者の95人が参加し歩きながら通学路点検、バリアフリー点検をしました。

■ 5月19日 第7回ホテルの夕べ in 高下谷

ホテルの夕べでは、高下谷子ども会とホテル保存会の合唱のほか有明中学校の合唱、市内出身の川崎澄香さんのエレクトーン演奏、春口孝志さんのギター演奏が行われ、会場に集まった観客は屋外での音楽鑑賞を楽しみました。

■ 二十歳の出航（1月1日、3日、5日）

志布志市では1月1日に松山地区、3日に有明地区、5日に志布志地区で成人式が開催されました。この年の新成人は、昭和61年4月2日から昭和62年4月1日生まれの方が対象で、市内で523人が大人の仲間入りをしました。今年からは市全体での開催となります。

■ 1月7日 鬼火焚き（松山地区泰野校区公民館近くの水田）

この鬼火焚きは「てのんこ会（村中洋人会長）」が中心となり行われたもので、平成12年に青少年校区民会議が発足したときに「地域の子も達に故郷を感じてもらいたい」と、泥んこ大会やカルタ大会等とともに始められ、今回が10回目の開催となりました。

■ 1月28日 志布志市誕生一周年記念式典が市文化会館で開催

記念式典には、市民約900人が出席し、盛大に開催されました。式典を飾るオープニングでは、宇都中学校吹奏楽部による演奏が行われ、美しい音色が館内に響きました。また、イメージソング最優秀賞を受賞した志布志小学校5年生（当時）の大峯瑞季さんに記念の盾と副賞が贈られました。大峯さんは「物語や詩を読んだり、書いたりするのが好きなので、市報を見て応募しました。最優秀賞に選ばれて大変うれしいです」と話していました。

■ 2月3日、4日 国際交流を楽しみました

開田の里公園でインターナショナルイベントイン開田の里が開催されました。市内の小学4年生以上の24人の子どもたちと講師として参加したアメリカやオーストラリア、中国などの方と交流を行いました。今後、市では国際交流に力を入れていきます。

■ 2月4日 県内一早いだご祭り

志布志町田之浦の山宮神社で県内一早い春祭りといわれる「だご祭り」が行われました。お宮には各自治会から奉納されただご花が飾り付けられました。

■ 2月10日 手作りの炭焼き小屋が完成

ダグリ岬遊園地駐車場の隣に「夏井・陣岳ふるさとづくり委員会」の事業で炭焼き小屋が完成し、念願の竹炭を作ろうと25人の委員が見守るなかで、火入れ式が行われました。

■ 2月17日～21日 第53回鹿児島県下周市郡対抗駅伝競走大会

県下周駅伝（南日本新聞社主催）に曾於地区代表として、志布志市から7人の選手が参加しました。最終日まで始良チームと優勝を争い曾於チームは総合2位と活躍しました。

■ 2月24日～25日 生涯学習フェスティバル

1年間の生涯学習の成果を発表する生涯学習フェスティバルが、市文化会館で開催されました。2日目のグランドフィナーレでは市内全域から参加する初めての学習発表で40講座470人が今年1年の学習の成果を発表しました。また、生涯学習推進大会では京セラ名誉会長稲盛和夫氏と夜回り先生でお馴染みの水谷修先生の講演もあり多くの市民が集まりました。

■ 3月11日 民俗芸能大会

田之浦ふるさと交流館で「新市誕生記念志布志市民俗芸能大会」が行われ、市内に伝わる様々な民俗芸能を2回に分けて一同に会して発表するもので、2回目は平成19年12月16日に開催されました。



1月7日 鬼火焚き



1月28日 志布志市誕生一周年記念式典



2月4日 田之浦山宮神社のだご祭り



2月17日～21日 県下周駅伝



3月11日 民俗芸能大会





9月15日、16日 第61回県民体育大会



10月10日 曾於地区中学校駅伝競走大会



10月27日 社会福祉大会



11月6日 平成19年度鹿児島県茶業振興大会



11月10日、11日 やっちく松山藩秋の陣まつり

■ **9月15日、16日 第61回県民体育大会（ゴルフ競技は14日開催）**
 きらめき県体2007が、志布志市、曾於市、大崎町を中心に開催されました。開会式はやっちくふれあいセンターで開催され、これまでの屋外の開会式と違い現在ある施設を有効利用するという新しい試みのなか、県内12地区の選手、役員ら約600人が参加しました。地元曾於は、剣道、ボクシング競技で優勝、相撲で準優勝、柔道、ボウリング、バレーボール女子、ハンドボール女子、ソフトボール女子、カヌー女子で3位となるなど、総合6位という結果でした。

■ **9月17日 市内各地で敬老行事**
 敬老の日、市内各地で高齢者を祝う催しが行われました。同日には、市内の白寿及び100歳以上のお年寄りを市長・議長が訪問し、長寿をお祝いしました。志布志市では、8月末日現在で、65歳以上の方1万381人が生活しています。これは、総人口の29.5%です。

■ **10月10日 曾於地区中学校駅伝競走大会**
 志布志運動公園周辺周回コースで地区中学駅伝大会が開催され、男子の部17チーム、女子の部15チームの参加で、県大会出場権（3位以内）をかけてのデッドヒートが繰りひろげられました。この大会で本市の松山中学校の男子が2位、女子が3位となり県大会に出場しました。

■ **10月19日 国指定文化財（名勝）等を視察**
 市教育委員が、国指定文化財となった庭園等の視察を行いました。本市では、地域が資源として持っている貴重な歴史的文化遺産を、最良の形で保全するとともに、最大限に活用して、市全体の活性化につなげることを目的とする、歴史の街づくり事業が計画されています。

■ **10月26日 ふるさと協議会のボランティア**
 市内の建設業者で組織される志布志市ふるさと協議会による河川清掃が、尾野見川、前川、菱田川で行われました。今回は、支部ごとに作業が行われ松山地区で60人、志布志地区で70人、有明地区で100人の方が参加しました。2台の重機と草刈り機やフォークなどを使用して清掃作業を行いました。

■ **10月27日 社会福祉大会が開催**
 市文化会館で第2回市社会福祉大会及びボランティアまつりが開催されました。開会行事の後、福祉大会では家族の介護を献身的に行っている方や市の社会福祉に貢献された方、福祉作文・絵画コンクールの入賞者の表彰が行われました。

■ **11月6日 平成19年度鹿児島県茶業振興大会**
 鹿児島県茶業会議所と志布志市の主催により平成19年度鹿児島県茶業振興大会が志布志市で開催されました。鹿児島県は平成18年度の栽培面積が8460㌦と、静岡県に次ぐ国内2位の栽培面積を誇ります。今後「かごしま茶」のさらなるブランド化を目指し大会は行われました。

■ **11月10日、11日 大隅の國やっちく松山藩秋の陣まつり**
 前夜祭ではリトルチェリーズ玉江のコンサート等が行われました。また本祭では、恒例の奉納武者行列や野菜の大盤振る舞い、各種アトラクションのほか山本リンダの歌謡ショーが行われました。

■ **12月1日 曾於植樹祭**
 有明町伊崎田の霧岳で、曾於地域の植樹祭が開催されました。当日は曾於地域の森林・林業の関係者をはじめとする約300人が参加し、記念式典のほかヤマザクラ・ヤマモミジの植樹、キジの放鳥などが行われました。

■ **6月3日 青年団がミラー清掃**
 志布志市青年団連絡協議会（末田裕樹会長）が松山地区内のロードミラー清掃を行いました。青年団をアピールしようと今年作った「SWF（Shibusi Wakamono Family）」のおそろいのTシャツを着用し40箇所のロードミラーを3時間余りかけてみがきました。

■ **6月20日、21日 交流学习を行いました**
 四浦小学校の全校児童10人が安楽小学校を訪れ同校の児童との交流学习を行いました。交流学习を通して、新しい友達づくりができるようにするとともに、互いに尊重しあいながら学びあうことを目的に開催されたもので、四浦小学校の児童にとっては、多くの児童と学習を共にする貴重な体験ができました。

■ **6月29日 子育て支援の懸け橋が誕生**
 ファミリー・サポートセンター志布志の開所式が、子育て支援センター「はぐくみランド」で行われました。このサポートセンターは地域で「育児」の援助を受けたい人（依頼会員）と「育児」の援助を行いたい人（提供会員）が会員となり、会員間で助け合うというもので、県内で6番目の開所となります。

■ **7月5日～8日 第4回国際青少年音楽祭 in 志布志市**
 ベルギーよりカンターテ・ドミノ少年合唱団が来日し7月6日に市文化会館、翌7日にはやっちくふれあいセンターでそれぞれホールコンサートを行いました。同合唱団は7月5日から8日まで市内で小中学校との交流事業やホームステイを行いました。7月7日のやっちくふれあいセンターのコンサートの後には同センターで夕涼み会が行われ、昔懐かしい縁日の風情で合唱団との交流を深めていました。

■ **7月12日 さんふらわあのキャッチコピーが決定**
 さんふらわあ志布志航路利用促進協議会で決定しました。市内外から応募総数612点、234人の方から応募があり、その中から苑田マレ子さんの作品が選ばれました。今回決定したキャッチコピーは「さんふらわあ大（大阪）志（志布志）をいだいて夢航路」です。

■ **7月21日 みなとまつりが盛大に開催**
 志布志港旅客船埠頭を中心に志布志みなとまつりが行われ、約5万人がまつり会場を訪れ、志布志の夏を満喫しました。当初は、7月15日に開催予定でしたが、台風上陸により延期しての開催になりました。さんふらわあクルージングなど多くのイベントが催され会場を訪れた人を楽しませました。

■ **7月27日～30日 北国山形の青少年が志布志市の夏を満喫**
 合併前の旧松山町の友好盟約町である山形県酒田市（旧山形県飽海郡松山町）の青少年相互交流団員一行8人が7月27日から30日まで志布志市の夏を体験しました。なお、青少年相互交流として冬場に今回の受け入れ家庭の子どもたちが山形の家を訪問し、雪国の冬を体験しました。

■ **8月1日～12日 志布志みなとサッカーフェスティバル**
 「志布志みなとサッカーフェスティバル」（志布志市サッカー協会主催）が開催されました。この大会は、順位を争うものではなく、サッカー技術の向上を目指して、練習試合を行う大会で今年で12回目の開催になりました。当初は8校で開催していた大会も今年は県内が40校、県外から34校の74校が集まりました。



6月20日、21日 交流学习



6月29日 ファミリー・サポートセンター開所



7月5日～8日 第4回国際青少年音楽祭



7月12日 さんふらわあのキャッチコピー決定



8月1日～12日 みなとサッカーフェスティバル



記念モノニュメント除幕式

12月8日、大浜緑地公園で志布志市誕生お祝い記念モノニュメントの除幕式が行われました。
これは、平成18年に行われた「志布志市誕生記念お祝い祭り」で、市の誕生と共に、新生児の誕生を記念して行ったイベントの記念モノニュメントです。
この記念モノニュメントは、母が愛情いっぱい子供を抱きしめて、誕生を喜んでいるブロンズ像で、タイトルも「誕生」となっています。
このブロンズ像を制作するにあたり、お祝い祭り実行委員会は鹿児島大学の教育学部美術の池川直教授に協力依頼し、同大学と市が共同で制作しました。制作には学生にも加わっていただきました。



制作した学生と共に多くの親子連れも参加しました

平成20年消防出初式



晴天のもとで出初式が行われました

1月6日、城山総合公園多目的広場で、晴天の下、平成20年消防出初式が行われました。
消防団ラッパ隊の演奏で413人の消防団員が入場行進を行いました。観閲の後に行われた訓練では、松山方面隊尾野見分団が規律訓練を行い、その後、山重小学校の少年消防クラブが規律訓練を披露しました。
放水演習後、やっちくふれあいセンターで行われた表彰状授与式では、172人の消防団員に表彰状が授与され、大隅衛生企業(有)に市長感謝状が贈られました。
常日頃から尊い市民の生命と貴重な財産を守るため、日夜活動を行う消防団員の皆さんの活躍に感謝いたします。



夢しずく工房の利用者とスタッフ

自動車道「志布志〜鹿屋」起工式

12月16日、鹿児島〜福岡間の4県を結ぶ東九州自動車道の、志布志〜鹿屋IC間の起工式が行われました。国と県が費用を分担して整備する新直轄区間(48km)のうち、鹿屋IC〜末吉IC間はすでに着工しており、県内全線で本格的に工事が始まります。
有明農村環境改善センターで式典、菱田川近くの橋梁工事現場で鉄入れ式があり、伊藤祐一郎県知事や県選出国会議員、沿線市町の関係者が工事の安全を祈りました。
東九州自動車道の総延長約436kmの高速自動車道のうち、起工した志布志〜鹿屋ICは19.2kmで、志布志IC(志布志町志布志)のほか、鹿屋IC、大崎ICも整備されます。
起工式で本田修一市長は「旧国鉄の大隅線、志布志線の廃止の条件だった高速道整備が、ようやく実現への運びとなりました。早期の供用を望むとともに、志布志〜日南間の整備実現へ向け今後も関係機関と協力していきたい」と話しました。



多くの関係者が見守るなか橋梁工事現場で行われた鉄入れ式

みのもんださんから手紙

11月27日にゆめしずく工房の西園領俊子実行委員長が事務所を通じて、みのもんださんにオリジナル焼酎「夢しずく」と工房の利用者のメッセージを届けたところ、みのもんださんからお礼の手紙が届きました。
手紙には焼酎のお礼や励ましが書き添えられていました。
利用者の有村達矢さんは「テレビでいつも見ているので返事が来てうれしい。ぜひ会ってみたい」と話していました。

団塊の世代からの贈り物

12月8日、アピアホールで市内の6人で構成するアマチュアバンド「グッドフェローズ」のチャリティーライブが行われました。
会場には50歳〜60歳代を中心に家族連れ等300人を超える方が集まり懐かしいポップスや日本のグループサウンドも披露されました。
12月17日、グッドフェローズのメンバーが教育長室を訪れ収益の一部を「図書購入に」と寄付しました。
メンバーでボーカルの土田進一さんは「これは私たちからではなく、当日会場に集まっていた『団塊の世代』からのプレゼントです」と話していました。
世代を超えた素敵なプレゼントありがとうございました。



教育長に目録を手渡しました

農村振興局長賞を受賞



市役所で関係者とともに受賞の報告を行いました

お鹿屋農協農業協同組合のピーマン専門部会が農林水産省農村振興局長賞を受賞し、12月18日、同専門部会が市役所を訪れ受賞の報告を行いました。
これは同部会が、畑地かんがい用水が確保されたことで、ピーマンの効果的なかん水方法など栽培技術の向上のほか販売促進活動に取り組み、作付拡大を実現し、冬春ピーマンの野菜指定産地を再興したことが高く評価されたものです。
また、生産技術・経営の指導により新規就農者の定着を図り同部会の43戸を新規就農者が占めています。
現在、同部会は平成18年度現在、生産農家が71戸、作付面積が16.9ha、販売金額が8億4千万円です。

「さんふらわあ」交流

グラウンドゴルフ大会を開催

12月1日、2日にさんふらわあ交流グラウンドゴルフ大会が、市民グラウンドで開催されました。
この大会は、さんふらわあ存続のために利用促進を図るとともに利用に向けたPRを行うために開催されました。
大会には124チーム744人の参加があり、関西地区から25チーム(150人)の方が参加しました。
競技では日頃の練習の成果を発揮するとともに各チームが親睦を深めていました。
なお、優勝チームは大崎ワンクラブで、副賞としてさんふらわあ往復招待券が贈られました。



優勝チームにさんふらわあ往復招待券が贈呈

第2回志布志市民俗芸能大会

12月16日、「第2回志布志市民俗芸能大会」がやっちくふれあいセンターで開催され、約400人の参加がありました。
民俗芸能大会は、平成18年に新生志布志市が誕生したことを記念して、市内に古くから伝えられてきた郷土芸能等を広く、市民の方々に知って頂くことを目的に2年に渡り企画されました。
今年も、市内の各地域で郷土芸能を継承され、志布志市民俗芸能保存会連絡協議会に加盟している25団体のうち10団体が出演し、手拍子や棒踊り、神舞などを披露しました。
また、はがき・短冊作り体験なども行われました。今後様々な民俗芸能が継承されることを期待します。



内之野郷土芸能保存会による奴踊り



市報しぶしの朗読サービス『和多市のしぶし』は毎週、月曜日と木曜日の午前5時から右のFM局で好評放送中です。

★www.0033fm.net★

FMかのや 77.2MHz FMきもつき 80.2MHz FM志布志 78.1MHz



県大会3位となった香月サッカースポーツ少年団の皆さん

快拳！県大会で3位 香月SSS
11月18日、23日、24日に県立吹上浜海浜公園で第46回県ちびっこサッカー選手権大会が開催され、香月SSS（サッカースポーツ少年団）が3位の活躍をみせました。県内192チームから予選を勝ち抜いた64チームが出場した同大会に香月SSSは大隅選手権で優勝しての参加で、最終日の準決勝まで勝ち進みました。同少年団は、香月小学校や志布志小学校、有明小学校の児童28人が所属し、畠中正二郎さんの指導のもとで練習を行い、キッチン杯や南九州大会等で優勝するなど、今後の更なる活躍が期待されます。

半成人式 志布志小学校
12月8日、志布志小学校体育館で半成人式が行われました。これは、子どもたちの健やかな成長と健康を願うため保護者が中心となり企画したもので、児童やその家族120人が参加しました。式では、上赤校長からお祝いのことばをいただき、児童一人ひとりに担任の先生から記念の半成人の証書が手渡されました。その後、児童全員で合奏、合唱を披露し、「今日の日までありがとうございます。これからは大きな夢に向かって精一杯の努力をします。」とお礼のことばを述べました。



児童一人ひとりに半成人の証書が渡されました



森林について説明を受ける子ども達

図工の時間に森林について学ぶ
12月20日、尾野見小学校の2年児童13人が、同校区で林業を営む上之園俊彦さんの製材所を訪ね木材と森林について学習しました。子ども達は、実際に切り出したばかりの丸太から製材して板を作る作業を見学したあと、切り株から年輪を数えて木の年齢を調べる等の学習を行いました。また、上之園さんから林業の大切さなどについて説明を受けました。上之園さんは「子ども達に少しでも林業に興味を持ってもらい森を守ることの大切さに気付いてほしい」と話していました。

人権について考えました
12月4日、安楽小学校で人権意識の高揚と「命」を大切にすることを目指し、元ハンセン病患者の福仲功さんの講演会が行われました。福仲さんは沖縄県石垣島の出身で、病気のことやその病気のことでいじめを受けたこと、療養所に入所してからの生活の様子や出来事、そして一つしかない命を大切にすることに気づきやすくて話されました。また、上学年の保護者約30人も講演会に参加しました。子どもたちも、福仲さんの話に真剣に耳を傾け、話の内容にとっても感動していました。講演後には、子どもたちや保護者の方が心を込めて折った千羽鶴と花束を福仲さんにプレゼントしました。



心を込めて折った千羽鶴と一緒に記念写真

交通安全について勉強しました

12月14日、山重幼稚園と有明保育所で鹿児島県警の交通安全教育班「ひまわり号」による交通安全教室が行われました。山重幼稚園では、警察官3人と腹話術人形「全ちゃん」による正しい横断歩道の渡り方やビデオで交通ルールの勉強を行いました。また、ダミー人形を使った飛び出しによる衝突実験では、人形が車に撥ねられる様子に子ども達は一様に事故の怖さを学びました。最後に、子どもたちはおまわりさんと「道路に急いで飛び出さない」「道路で絶対遊ばない」「車に乗る時はシートベルトをします」と3つの約束をしました。



子どもたちは楽しく交通安全を学びました（山重幼稚園）

福祉について学習しました

12月14日、原田小学校で社会福祉協議会の協力により3・4年生が手話学習、5・6年生が車椅子・アイマスク体験をしました。障害をもつ方々への理解を深め、自分の行動等について考える機会にしようという取り組みです。車いす体験では、社会福祉協議会の職員が車いすの扱い方などについて説明のあと、介護する側とされる側に分かれて体験を行いました。普段、簡単に通れる場所も障害のある方にとっては大変だということに子ども達は驚いていました。車いすに乗った高田和也さんは「下り坂とか怖かったです。困った人を見かけたら今日の練習を生かしたいです」と話しました。



社会福祉協議会の指導のもと福祉について体験（5年生）

クルージングパーティinしぶし

12月23日、さんふらわあの船上でLOVEクルージングin志布志あなただの愛をさんふらわあに乗せて♪「愛のドンペリーナ」が、市青年団連絡協議会（末田裕樹会長）の主催で開催されました。パーティは、独身の男女50人ずつ100人が船上でレクリエーション等を行い、下船後にボルベリアアダグりに会場を移動してのカップリングパーティで、市青年団による初の主催イベントとなりました。会場では、青年団のほか、市役所職員等のボランティアスタッフが進行などで裏方として活躍しました。なお、このパーティで3組のカップルが誕生したほか、連絡先の交換なども行われていました。



船内で準備をするスタッフ

クリスマスクルージング

12月23日、さんふらわあクルージングが行われ、約600人がミニクルージングを楽しみました。12時に志布志港を出港したさんふらわあは内之浦沖を回る約2時間の周遊航海で、船内では子ども向けイベントも行われました。また、抽選で2組の家族が特別に操舵室の見学を行いました。鹿屋市からクルージングに参加した中野広志さん（37歳）は「めったに見られないところを見学できてよかった。船を自動で動かすシステムに驚きました。（予め通った経路を自動で引き返す機能等）是非、来年は船で大阪に行ってみたい」と話していました。ぜひ、皆さんもさんふらわあの船旅を楽しんでみませんか。



多くの方が冬の航海を楽しみました



お茶の手揉み体験をしました

若葉会の会員が丁寧に指導を行いました（蓬原小学校）

12月6日、蓬原小学校と通山小学校で、若葉会（福田正和会長）の会員15人が「お茶の手揉み」と「おいしいお茶の入れ方」を指導しました。この活動は志布志市はお茶の産地でありながら、あまりそのことに関心がない事や若者のお茶離れが進んでいることを心配した会員が、子ども達にお茶の素晴らしさを伝えようと永い間取り組んでいるものです。午前中に行われた蓬原小学校では、5年生と6年生の32人が学年ごとに分かれて手揉みとお茶の入れ方について体験しました。手揉み体験では、会員の指導のもと、子ども達は懸命に茶の葉を揉んでいました。

PTA会員が門松作り 松山小
12月15日、松山小学校で校門周辺の清掃活動と門松建てがおやじの会と小学校の協力で行われました。松山小おやじの会は、『父親として子供たちの通っている学校のためにおやじとして何かできることはないか』『おやじの親睦を図り子供も親も楽しめる学校づくりをしよう』と19年度から発足しました。

今回が初めての活動で、会員は校門周辺の数十年分の苔を落とし、そして、見違えるようになったところで門松を飾りました。ほとんどのおやじ達がこの校門を通った卒業生で、思い出話に花を咲かせながら楽しく作業を行い、きれいになった校門に満足感を味わえた一日でした。



門松作りを終えて記念写真

志布志市障害者文化活動発表会

11月18日志布志市健康ふれあいプラザで障害者の社会参加を目的に、第1回志布志市障害者文化活動発表会が行われました。この発表会は障害者の方々から、普段活動していることを発表する場が欲しいという要望のもと今年初めて行われました。前半は団体の部、後半は個人の部が行われ、障害者の方々が歌や踊り、詩の朗読等普段練習した成果を発表しました。また、会場内では絵画や活動内容等が書かれたパネルの展示やバザーがあり、障害者の方やその家族、施設職員の方等が来場され賑わいました。



特別ゲストのCAMEL WIZARDの小園淳之輔さんと合唱

障害者ソフトボール大会で優勝

11月11日、鹿児島市の桜島溶岩グラウンドで開催された第17回稲尾杯日韓親善障害者ソフトボール大会で、鹿児島県有明障害者ソフトボールチームが出場し優勝しました。同大会は、元プロ野球選手の故稲尾和久さんの呼びかけで始まり、鹿児島県は初めてで、九州・山口各県の6チームに、韓国釜山から1チーム、鹿児島から3チームが出場しました。試合は、リーグ戦2試合と決勝トーナメントで争われ、同チームは、上平投手の投打の活躍で、決勝戦も山口西京スターズを10対2で下しての優勝となりました。佐藤辰美監督は、「今大会の2日後に稲尾氏が死去されたが、彼の意思を無駄にしないよう今後も活動を続けていきたい」と話しました。



優勝を喜ぶ鹿児島有明チームの皆さん

人権作文コンテストで入賞

宇都中学校3年生の徳重咲さんが第27回鹿児島県人権作文コンテストで奨励賞を受賞しました。徳重さんは盲導犬を連れた人どぶつかりそうになった事をきっかけに人権について考えた作文で県内での5051点の応募があった中からの入選となりました。12月7日、宇都中学校で鹿児島県地方務務局鹿屋支局の下池明支局長より表彰が行われました。



奨励賞を受賞した徳重さん



品評会の審査の様子

志布志市のしいたけが最優秀賞

12月20日、大隅地域振興局曾於支所会議室で、平成19年度曾於地区しいたけ品評会が開催され、乾しいたけ部門で有明地区の吉田一虎さん、清水洋子さん、中川憲司郎さんが最優秀賞を受賞、生しいたけ部門でも吉田さんが最優秀賞を受賞し、志布志市が4部門全てで最優秀賞を受賞するという快挙となりました。しいたけの栽培をしている方は、研修会や先進地研修会等に積極的に参加し、技術向上に努めています。受賞した皆さんおめでとうございました。



西高さんの受賞の様子

「人権の花」運動閉校式

11月26日、田之浦小学校で、人権擁護員の坪田則義さんや鹿児島県地方務務局鹿屋支局長の下池明さんなど9人の方を迎えて「人権の花」運動の閉校式を行いました。この運動は、子どもたちが「人権の花」ひまわりを大切に育てることで、互いの人権を尊重する心を培っていく活動です。五月の開校式で「思いやり 友だちつくる にじの橋」を田之浦小の標語として取組を始めました。一度はつぼみを持つところまで育ちましたが、台風で全滅。その後種まきしたひまわりは元気に育ち、3月まで伸びたものもありました。閉校式では、この運動の中心になって活動した3・4年生が、ひまわりとともに大きく育った自分たちの人権の心を発表しました。

この運動は、子どもたちが「人権の花」ひまわりを大切に育てることで、互いの人権を尊重する心を培っていく活動です。五月の開校式で「思いやり 友だちつくる にじの橋」を田之浦小の標語として取組を始めました。一度はつぼみを持つところまで育ちましたが、台風で全滅。その後種まきしたひまわりは元気に育ち、3月まで伸びたものもありました。閉校式では、この運動の中心になって活動した3・4年生が、ひまわりとともに大きく育った自分たちの人権の心を発表しました。



「人権の花ひまわり」と共に人権を尊重する心をみんなで育てました



そば打ちを体験する子ども達

そば打ち体験で伝統の味を継承

12月26日、西光保育園で園児40人と同園の児童クラブの小学生約30人がそば打ちを体験しました。子ども達にそば打ちを教えるために同園の山口真由美先生は、そば屋さんと修行を行いました。この日は、約7割のそば粉を用いそばを作りました。最近そばを打つ家庭も少なくなりましたが、子ども達は昔ながらのそばの味に舌鼓をうちました。できたそばは隣接する中学校や近くの駐在所等にも届けられました。



多くの参加者が歩こう会を楽しみました

ふるさとを再発見しました

「寒さに負けない気力・体力の養成、あらためて郷土を見つめ直す」をテーマに、市子ども会育成連絡協議会（大野洋一会長）主催のもと、12月9日「ふるさと寒中歩こう大会」が開催されました。

この大会は、志布志・有明・松山それぞれ設定されたコースを、年度ごとに遊歩するというものです。

今年是有明コースで、参加者150人が、岳野山を中心に5キロの道のりを遊歩しました。距離は短いものの、登りの傾斜に、最初元気だった子ども達も、頂上付近では黙々と登っていました。

頂上では、昼食後、ジュニア・リーダークラブと高校生クラブの中・高校生を中心に、レクリエーションをして交流を図り楽しみました。

PTA活動研究委嘱公開

12月1日、市文化会館で、曾於地区内外から小中高校PTA会員、学校職員等670人の参加の中、本市PTA連絡協議会主催による、県PTA活動研究委嘱公開志布志大会が開催されました。

大会は『地域や学校の特色を生かし、子どもたちに生きる力を育むPTA活動と家庭教育のあり方』を研究主題に、有明小学校、通山小学校、有明中学校の3校PTAを中心に取り組まれました。

研究発表では、有明小PTAは「食育」について早寝・早起きと朝ご飯の重要性などを訴えました。また、通山小PTAは「健康安全・命の教育」について、有明中PTAは「親子進路学習」の実践について発表しました。



多くの取り組みの発表が行われました

携帯電話について研修会

11月30日、市文化会館で、小中高校のPTA会長や校長先生、生徒指導の先生等90人の参加で、本市校外生活指導連絡会が開催されました。

子どもたちの携帯電話やインターネットの利用による様々な社会問題から、総務省が行っているe-ネットキャラバン協議会による『e-ネット安心講座』を開催しました。

講師の（株）NTT西日本南九州の新福憲夫所長は、インターネットの危険性や有害情報のフィルタリング、情報モラルの大切さ等について講演されました。専門的な内容をわかりやすく説明され、参加者は大変身近な問題として、真剣に聞いていました。



情報モラルの大切さなどについて研修

厚生労働大臣から感謝状

日本赤十字社に永年にわたり寄付を続けている山本富子さん（志布志町志布志）が、このほど厚生労働大臣感謝状を受賞されました。山本さんは、子どもの頃、父親が毎年、日本赤十字社に寄付をしていたのを見て自分もしてみようと思ひ、買ひ物のたびに蓄えておいたつり銭などを30年以上日赤に寄付しています。永年の善意あるご寄付ありがとうございました。



市役所で報告を行った山本さん

祝 平成20年 志布志市成人式



有明地区の新成人の皆さん

成人式おめでとう二十歳の出航

1月4日、市文化会館で成人式が開催されました。昨年までは旧町ごと（松山町・志布志町・有明町）行われていた成人式ですが、本年より合同での開催となりました。

今年の新成人は、昭和62年4月2日から昭和63年4月1日生まれの方が対象で、市内で556人が大人の仲間入りをしました。式典には新成人444人をはじめ関係者が多数出席し、厳かに行われました。

オープニングアトラクションでは、2006年度沖縄タイムス芸術選賞伝統芸能部門「三線・グランプリ」で入賞の志布志市民の蔵園有生さんによる三味線演奏が行われ、新成人の門出に花を添えました。式では新成人を代表して広島県で勉学に励み、4月からは就職し社会人となる竹山菜央さんが、高度情報化の中で、生きていく新成人として正しい情報を的確につかむことの大切



謝辞を述べる竹山さん

切さやふるさと志布志市に対する感謝の気持など20歳の抱負と謝辞を述べました。式典の後、地区ごとに記念撮影を行いました。新成人のみなさん、ご成人おめでとうございます。



松山地区の新成人の皆さん

志布志地区の新成人の皆さん





地球にやさしいことはじめよう！



このように縛って出してください



第2回 井手さん

自分の住んでいる地域は自分できれいにする・・・これが「マイロード」の基本精神です。「最近道路がきれいだね」、「志布志市の道路きれいだね」と噂されるようなそんなまちにしたいですね。そのためには多くの市民の取り組みが必要なんです。

今回、紹介する井手敬子さんは松山町尾野見で畜産業を家族とともに営んでいます。「毎日、クリーン大作戦を実行できたらいいと思うのですが、仕事が多忙な時期などはなかなか実行できません」と話します。井手さんは、歩くことが健康づくりの基本ということでウォーキングを行っていましたが、歩いていると道端にたばこの吸い殻やレジ袋等が散乱しているのが気にかかっていたといいます。

クリーン大作戦の参加は、地区の球技大会に参加した時、開会式の後に環境政策課の職員が行ったマイロードクリーン大作戦についての説明会で「自分たちの住んでいるまちは自分たち



健康づくりを兼ねてマイロード作戦

できれいにしませんか」との呼びかけに、なんとなく今まで気になっていた道端のごみでしたが、少し背中を押されたような気がしたのがきっかけとなりました。現在、井手さんは自宅周辺の約1.5キロをウォーキングを兼ねて週に2、3回程、クリーン大作戦を行っています。「一回でレジ袋がいっぱいになる程度のごみの量ですが、たばこのポイ捨てのごみが多いのが気になります」と話します。また、風が強い日は、小さなビニールごみ等が散乱しているそうです。家庭で一般ごみや資源ごみを収集日まで保管するときは、ごみが飛び散らないような工夫をしましょう。「歩くことは健康にも良いと思います。あまり肩肘を張らずにぜひ皆さんも気楽にクリーン大作戦に参加しませんか」と話す井手さんでした。

マイバッグ運動を啓発する川柳・ポスター募集！

マイバッグ運動を啓発するため川柳やポスターを募集します。採用されたポスター等は各小売店に掲示します。

- 応募方法 川柳 はがきに句を書いて次の宛先まで送付してください。ポスター サイズは問いません。作成し、次のあて先まで持参、または郵送してください。
- 募集期間 平成20年1月31日まで
- 応募・問い合わせ先 〒899-1749-2 志布志市有明町野井倉175番地 志布志市衛生自治会事務局内 「マイバッグ運動川柳・ポスター募集」係

ビニールシート類のごみの出し方の変更について

ビニールシート類や家庭用のビニール製テントの屋根部分については、資源ごみの日に50センチ×50センチのサイズに切ってください、プラスチック類として資源ごみ袋に入れて出すようお願いしておりますが、平成20年1月からは、今までのように切っていたがなくても写真のようにひもで縛って、資源ごみの日にステーションに出していただければ回収いたします。

- 問い合わせ先 市役所環境政策課 環境政策係 Tel 474-1111 (内線 133)

環境省レポート

環境省で勉強している吉井啓剛主事のレポートを定期的に紹介しています。

今回は、12月3日、4日に大分県別府市で開催された「アジア水太平洋サミット」「アジア・太平洋水フォーラム」に参加しましたので、その内容をお知らせします。

「アジア水太平洋サミット」は、アジア・太平洋水フォーラムの活動の一環として、各国首脳・各界のリーダー等が集まり、地域の水問題を解決するための具体的な政策について議論し、新たな活動方針・計画を発信することを目的とするものです。

今回は、皇太子殿下、森嘉朗元首相をはじめ多くの方々が講演を行い、問題解決に向けた提言を発表して閉幕しました。提言には2025年までに、域内全人口に安全な飲料水を供給することなどを目標として盛り込んでいます。アジア・太平洋地域は水が豊富であると考えられがちですが、意外にも2001年から2005年の統計によると洪水や津波、高潮など水災害による全世界の犠牲者の8割が集中し、安全な水を利用できない人は7億人と世界全体の6割強を占めています。このような危機的状況を打開するために多くの首脳が集まって今回のサミットが開催されました。

「アジア・太平洋水フォーラム」は、アジア・太平洋地域の水問題、ひい

ては世界の水問題解決に向けてすべての関係者で構成されるゆるやかなネットワークです。

ここでは、大学、企業、行政の立場を超えた参加者が英語で「水」に関する問題、取組など様々な論文を発表しました。内容の全てを把握することはできませんでしたが、その発表を聞いたり、運営に関わることができました。私の上司である西前係長も「日本の地下水行政」について、流ちょうな英語で発表を行いました。発表の後は必ず誰かが質問をして、それに答え活発な意見交換が行われていました。

また、来場者への記念品として、志布志市の「ひまわり石けん」と「竹炭石けん」を準備しましたが、竹炭石けんは、すぐになくなりました。石けんには、市役所で英語の説明シールを作成したものを貼りました。熊本市から来た現在の職場の同僚は「熊本の水」を配布しました。日本では、ほとんどの人が「水」というものは日常当たり前に使っていると思いますが、本当は我々が生活していくうえで最も重要なもののひとつであると思います。当たり前のことを当たり前と思わずに常日頃から感謝をして水と接していきたいと感じました。

狂犬病予防接種を受けましょう！

犬の飼い主には、毎年1回狂犬病予防注射を受けさせることが義務付けられています。

狂犬病予防注射は毎年接種してこそ免疫が衰えず確実なものとなります。今年度、5月及び10月の集合注射、または動物病院で予防注射をされている生後91日以上の犬は、早急に最寄りの動物病院で接種してください。

一昨年、フィリピンからの帰国者で狂犬病に感染した例がありました。狂犬病は感染してしまうと、有効な治療法がないため、発症すれば100%死亡すると言われております。万一、狂犬病ウイルスに感染した動物が国内に侵入した場合、その蔓延を防止する一番の対策は、飼い犬に対する狂犬病予防注射実施であると言われております。

毎年1回の接種を行い、予防注射の全頭実施へのご協力をお願いします。また、登録済みの犬が死亡した場合、そのまま台帳に残りますので、必ず次の問い合わせ先まで届け出ください。犬の飼い主が変わった場合も届け出が必要です。

なお、狂犬病予防法により飼い犬に予防注射を実施していない飼い主には、20万円以下の罰金が科せられます。

犬の糞について

最近、犬の糞の苦情が多くなっております。糞をそのまま放置すると、みんなが迷惑します。糞を持ち帰ることは、飼い主のマナーです。ご協力よろしくをお願いします。

- 問い合わせ先 市役所環境政策課 環境政策係 Tel 474-1111 (内線 133)
- 志布志支所市民課 環境衛生係 Tel 472-1111 (内線 225)
- 松山支所 市民課 環境衛生係 Tel 487-2111 (内線 224)

平成19年度ひまわり写真コンテストファンタジー賞 「夏の訪問者」(志布志町、中原亮さんの作品)



第2回志布志市

ふるさとまつり IN 有明



踊ろう会で優勝した交通事故なくし隊

多くの人で賑わった屋台村フードフェスティバル

まつりの始まりを告げる太鼓の演奏

司会はDJポッキー

木下航志さんのライブ

環境コンクールの表彰式

子ども達に大人気だったミニSL

オープニングの志布志小金管バンド

あなたもひまわりを植えて、「サンサンひまわりプラン」に参加しませんか

昨年まで自治体加入の全世帯にひまわりの種を配布しておりましたが、今年から希望を取り、ひまわりを植えたい世帯や各種団体に配布をしたいと考えております。

また、今年からは、食用油用ひまわりだけでなく、背丈の低い観賞用ひまわりの種も準備しております。

つきましては、ひまわりを植えられたい方や団体は、**2月8日（金）**までに個人は各自治会長へ、各種団体は、市衛生自治会事務局（市役所環境政策課または各支所市民課環境衛生係）に下記申込み用紙に記入の上、申し込みください。



食用油用(ハイブリッドサンフラワー)

※ 昨年まで配布しているひまわりです。

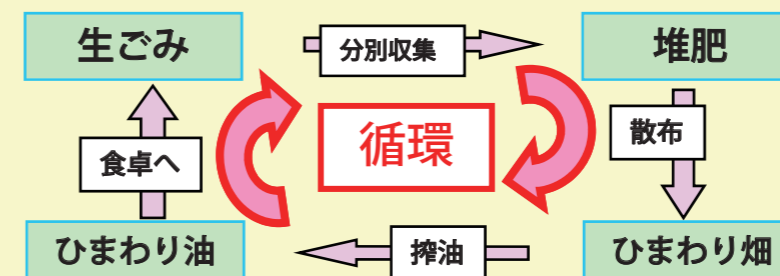


鑑賞用(ビッグスマイル)

※ プランターでも栽培できます。

サンサンひまわりプラン

生ごみからひまわり油を作り、体の中から健康に



ひまわり種まき風景

----- 切り取り線 -----

ひまわりの種申し込み書

【環境政策課行き】

名前 [] 団体で申し込みされる場合は団体名も []
自治会名 [] 電話番号 []

1. ひまわりの種類 (○をしてください。)	2. 配布希望数
食用油用 (ハイブリッドサンフラワー)	10g入り封筒 () 袋
観賞用 (ビッグスマイル)	5g入り封筒 () 袋

※ 10gは約30㎡植え付けする場合の量です。
※ 5gは観賞用、10gは食用油用です。

晴天の下ひまわりまつり

12月2日、「第2回志布志市ふるさとまつりIN有明」が開催され、約3万人の観客が訪れました。

今回は「地球にやさしく、人にやさしく」をキャッチフレーズにエコ活動の推進をまつりを通して強くPRしました。

その中で、「我が家から始めよう エコライフ55運動」を3か月実践した家族に『環境家族認定証』の授与やひまわり写真コンテスト表彰式も行われました。

また、ひまわり油を使った天ぷらの振る舞いや分別魚釣り大会、ミカンや卵のつかみ取り大会を開催し、集まった方に市の環境政策への協力を呼びかけました。

舞台では、天才シンガーとして活躍している木下航志さんのコンサートを通じて会場全体に人の優しさの輪が広がっていききました。また、様々な同好会等の発表もあり会場は盛り上がりました。

地元特産品にこだわった屋台村フードフェスティバルでは、少しでも志布志の特産品を知ってもらい、味わってもらえ大変好評でした。

翌日は、JA壮青年部等による会場周辺のごみ拾いボランティアも行われましたが、まつり当日の呼びかけもあり前年より落ちているごみは大変少なかったようでした。

志布志市 菜園

LA LA SOLEIL

Vol14. 有馬さん (53歳)

「飛行機は中途半端な気持ちでは難しいけど、真剣に取り組めば身近なものですよ」と話す有馬實彦さん(志布志町帖)は、菊農家として60年のビニールハウスを経営する傍ら、志布志フライングクラブの会長で、趣味で飛行機の操縦を行います。飛行機の出会いは、団体職員として働いていた時に友人が、飛行機に興味にしていたのをみて、子どもの頃から興味があったこともあり昭和63年に同クラブに加入しました。同クラブは、3機のマイクロライトプレーンを所有し、50歳代、60歳代の6人が所属しています。大原の芝畑を離着陸場に活動しています。マイクロライトプレーンは、単座



普段は菊農家として菊の栽培に心血を注ぐ有馬さん



志布志フライングクラブでは、志布志市だからこそ楽しめるスカイスポーツを楽しんでいます。興味のある方は <http://www.pilotweb.jp/fly/place/mlp.html> にてご確認ください。



指導員の試験を受けるための練習フライトをする有馬さん (現在は指導員の資格も所有し、フライトの指導も行います)

Go!Go!志布志港

～国際物流拠点を目指して～

問い合わせ先 市役所港湾商工課 Tel 474-1111 (内線 265)

おじやつたもんせ! 志布志港へ

志布志港現場開催報告とご案内



港の概要についての説明の様子 (事務所にて)

た。こちらはあいにくの荒れ模様で、強風にあおられ、舗装の済んでいない地面から巻き上げられた砂埃で遠方から車内での見学となりましたが、埋め立て地の広さに驚く声やこちらの説明にうなずく方、熱心に耳を傾けられる姿が見受けられました。同時に港湾工事の現場の苦労も伝わったのではないかと思います。

12月14日、市老人クラブ連合会の皆さんが志布志港湾事務所を訪れ、現場見学会を開催しました。

まず、所内でのパネルや資料を使った志布志港の概要説明からスタート。その後、旅客船ふ頭に移動しコンテナ貨物を取り扱う外港地区、飼料工場が建ち並ぶ若浜地区、さらにこれら港を波から守る防波堤の役割について説明を行いました。

最後に平成21年春の利用開始に向け整備の真っ最中である新若浜地区の「多目的国際ターミナル」の工事現場へ向かいます。

こうして「みなと」が活動する様子や工事が完成するまでの一端を実際に見ていただき、参加された方からは「工事の内容、進み具合がよく分かった」「志布志港の整備が着実に進められていることが実感できました。今後ますます物流や観光の中心になると感じられ、うれしくなりました!」との声がありました。

志布志港の発展を間近で見てこられた方々からこのような言葉もあり、主催者も開催に手ごたえを感じたようでした。

今年度は今回を含め7組



港の各地区の役割について説明を受けました (旅客船ふ頭にて)

計136人の方々が志布志港の見学に訪れました。志布志港湾事務所では、今後も現場見学会などとおして志布志港の役割についてお話ししたり、普段立ち入れない場所を見学したり、皆様からの疑問、質問などへお答えしていきます!

志布志港を「見て」「聞いて」「触れて」みてはいかがでしょうか? うか?!

まなぶ たのしむ する

志布志港を見に来ませんか?

整備状況を間近に見て聞いて知ることができる「現場見学会」を行っております。また、皆様のごところにおうかがいして、志布志港整備事業の紹介や志布志港の歴史の紹介をする「出前講座」も承っております。詳細はホームページをご覧ください。下記連絡先までお問い合わせ下さい。平日ならいつでもOK! しかも無料です!!

国土交通省 志布志港湾事務所 TEL: (099)472-3831
E-mail: mailbox-k89d3@pa.qsr.mlit.go.jp
URL: <http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shibushi/>

ご案内 『現場見学』&『出前講座』

第3回しづしポートマラソン

開催日 平成20年3月2日(日)  **ねりんピック鹿児島2008リハーサル大会**
 会場 志布志運動公園陸上競技場 平成20年10月25日(土)～28日(火) かごしまで 元気・ふれ合い・ゆめ噴火

第3回しづしポートマラソンは発展・整備の進む志布志港と志布志湾を背景に走る3km・5km・10km・ハーフマラソン・ファミリーコース(1.5km)のほぼ平坦コースで行います。

健康増進と市を越えて広く交流の輪が広がるのを楽しみに、ご家族や職場の同僚、また友人等を誘って参加してみませんか。

また、今大会は、平成20年10月26日開催の「ねりんピック鹿児島大会2008」マラソン交流のリハーサル大会も兼ねた記念大会でもあります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



<http://www.runnet.jp>でもエントリーできます

- 種目 ハーフマラソン 21.0975km 10:00 スタート
 10km 10:10 スタート 5km 10:25 スタート
 3km (その後ファミリーコース) 10:35 スタート

■申込・問い合わせ先 しづしポートマラソン大会事務局 (志布志市教育委員会生涯学習課内)
 Tel 472-1111 (内線 332) ※申込書は教育委員会事務局・各教育支所・市内体育施設にあります。

- 制限時間 ハーフマラソン 2時間30分 (その他関門を設けます)
- 参加資格 小学生以上の健康な方。(ハーフは18歳以上)
- 参加料 一般 2,000円 高校生以下 1,500円
 ファミリーコース 2人 1,500円 (3人 3,000円 4人 3,500円)
 ハーフマラソンコース 3,000円
- 申込期限 平成20年2月1日(金) 当日消印有効
- ※詳細につきましては大会事務局までお問い合わせください

しづし IKIKI 夢発見塾

創年と子どもの交流のための指導者養成セミナー

■地域アニメーター養成講座受講生募集!

新しい自分を発見しませんか。現代をより良く生きる生涯学習について楽しく取り組むために、その基本から応用まで、分かりやすく解説し、全国のまちづくりの事例をもとに実践的に楽しく学びます。

受講者には、全国に通用する「地域アニメーター(地域活性化指導者)」の受講終了証と申請により、海部俊樹氏(元総理)より認定資格が授与されます。

■日時 平成20年1月19日(土) 9:20～16:30

■会場 志布志市文化会館

■主催 志布志市教育委員会 志布志市生涯学習推進委員会
 志布志市生涯学習まちづくり研究会

■講師 福留 強 (聖徳大学教授)
 神谷 明宏 (聖徳大学准教授)

■参加費 1人1000円(昼食代・資料代込み)

※17:00より、まちづくり交流会を予定しています。

参加者は、別途1000円必要です。

■申込み・問い合わせ先 市生涯学習センター Tel 472-3050

劇団四季ファミリーミュージカル志布志市公演

魔法をすてたマジョリン

■公演日 平成20年2月5日(火)

開場 18:00 開演 18:30

■会場 志布志市文化会館

■入場料

S席 4,000円 A席 3,000円

B席 2,000円 C席 1,000円

前売り券はプレイガイドで好評発売中!



NHK大河ドラマ「篤姫」放送記念・文化教養講座

原口 泉 先生

幕末のファーストレディ 篤姫

■日時 2月9日(土)午後1時開演

■会場 志布志市文化会館

※入場無料

■問い合わせ先 志布志市文化会館 Tel 472-3050



■チケット・入場整理券のお求めは 市文化会館・やっちくふれあいセンター・市役所売店・(株)島津・三味堂

プレイガイド くみ書店・サンポートしづしアピア・市内郵便局(簡易郵便局を除く)

■チケットの問い合わせ先 教育委員会文化振興課 Tel 472-1111 (内線 340)

■問い合わせ先 教育委員会生涯学習課 Tel 472-1111 (内線 333)

教育委員会情報ネット

2月は生涯学習推進月間です

出かけよう集いの中へ 広げよう学びの輪

平成19年度 志布志市生涯学習フェスティバル 2月23日(土)～24日(日) 志布志市文化会館

展示発表 2月23日(土)・24日(日) 各機関パネル・講座生作品展示

生涯学習推進大会

2月23日(土) 9:00～ 開会行事・表彰・学習発表

生涯学習まちづくり講演会

「やんちゃ和尚の転んだら起きればいい!」

浄土宗・西居院住職 廣中 邦充さん



廣中 邦充さん

■プロフィール

「平成の駆け込み寺」として、家出・不登校・ひきこもり・いじめ・自傷行為などの問題を抱える思春期の子どもたちを無償で預かり、子どもの自立と社会復帰を支援する。TVや雑誌でも、その取り組みが紹介されるなど、注目を集め、これまでに399人の子どもたちを更正させた熱血和尚。

生涯学習グランドフィナーレ

2月23日(土) 13:00～ 講座生学習発表・開会行事・生涯学習表彰
 生涯学習まちづくり文化講演会

北原 照久さん

「夢への挑戦!～好きだから一生懸命～」

横浜ブリキのおもちゃ博物館館長 北原 照久さん

■プロフィール

テレビ東京「なんでも鑑定団」でおなじみの横浜ブリキのおもちゃ博物館館長。中学校の頃、目標も夢もなく、街を徘徊する日々が続く、何度も補導され、拳銃の果てに学校を退学となる。そんな自分を救ってくれたのが母の前向きな言葉。「ありがとう、母さん」感謝の言葉は人間が生み出した最高傑作。そんな人生を熱く語る。



2月24日(日) 9:30～ 講座生の舞台発表

※「生涯学習ふれあい体験」「各種バザー」「お楽しみ抽選会」等が予定されています。生涯学習の一日をお楽しみください。

図書館まつり 2月23日 読み聞かせ会 2月24日 ブックマーケット等

第3回志布志市生涯学習のまちづくり

花いっぱいコンクール

～職場・地域・学校・家庭であなたも応募参加してみませんか～

■応募締切 2月8日(金)

●学校の部

●地域・職場の部

●家庭花壇
 ガーデニングの部



つけもの名人コンクール

～世界にオンリーワンのあなただけの味を～

■つけもの名人募集!

■応募締切 2月8日(金)

■作品納入日 2月23日(土)

■納品場所 生涯学習センター

■審査日時 2月24日(日) 11時から14時

■審査方法 一般投票により決定します

■問い合わせ先 志布志市生涯学習センター Tel 472-3050

もういちい〜ときばってみるかい

平成19年度「全国学力・学習状況調査」の結果を報告します

平成19年4月24日、全国の小学校6学年、中学校3学年約230万人を対象にした「全校学力・学習状況調査」が全国一斉に行われました。これは1964年以来43年ぶりの調査で学力面の調査は小学校と中学校の国語、小学校算数・中学校数学、学習状況面の調査は生活習慣・学習習慣について行われました。

教育委員会では、1月号と2月号の2回に分けて本調査についての結果を紹介いたします。今月号では学力面の結果について志布志市の児童、生徒を全国と比較してみたいと思います。

Q1. どんな調査なのですか？

学力面の調査は知識面を調べる問題（A問題）と活用面を調べる問題（B問題）に分かれています。知識面の問題（A問題）は、いわゆる知識としてどれだけ子どもたちに定着しているかを測る調査で、活用面の問題（B問題）は、その知識を生活面においてどれだけ発揮し、活用できるかを測る調査です。

Q2. 全国の結果はどうだったのですか？

今回すでに報道されているように、全国の小学生、中学生は知識面については、ある程度の学力が定着していますが、活用したり応用したりする面においては劣っているという結果が出ました。簡単に言うと、覚えた知識を生活で生かしていないということです。

これは2003年に経済協力開発機構（OECD）が行った国際学習到達度調査（PISA）により明らかになった読解力や文章表現力の低下及び、応用面が劣るといった結果を裏付けるものとなりました。

Q3. 志布志市の子どもたちの学力はどうなのですか？

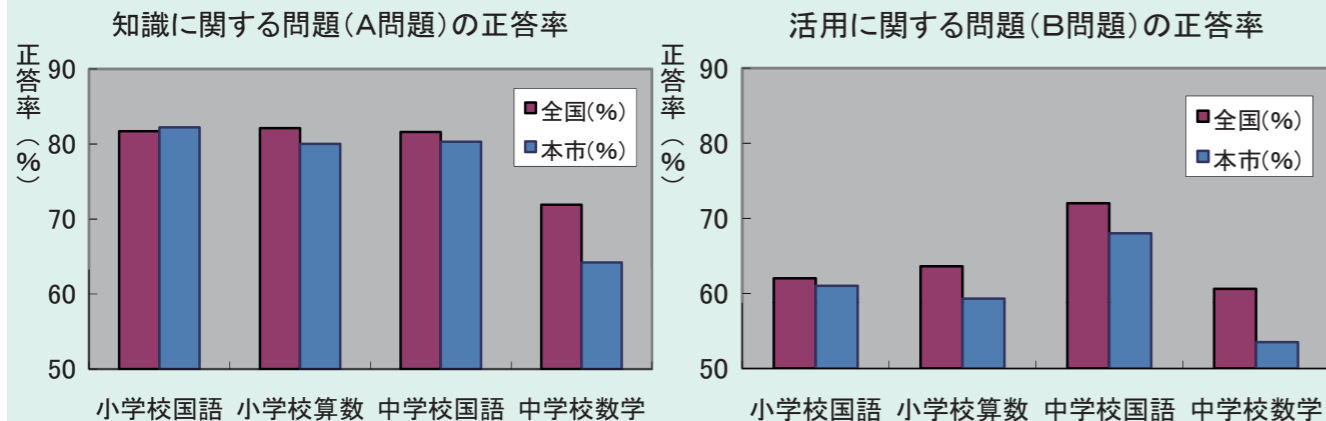
残念ながら良いとは言えません。特に、知識面より活用面が、小学校より中学校が低い傾向にあります。以下が結果の概要です。

志布志市の学力調査の結果の概要

国語A（知識・技能に関する問題）	小6…全国平均をやや上回っています。 中3…全国平均をやや下回っています。
国語B（活用に関する問題）	小6…全国平均をやや下回っています。 中3…全国平均を下回っています。
算数A（知識・技能に関する問題）	小6…全国平均を下回っています。 中3…全国平均を大きく下回っています。
算数B（活用に関する問題）	小6…全国平均を下回っています。 中3…全国平均を大きく下回っています。



以上の結果をグラフで見てください。

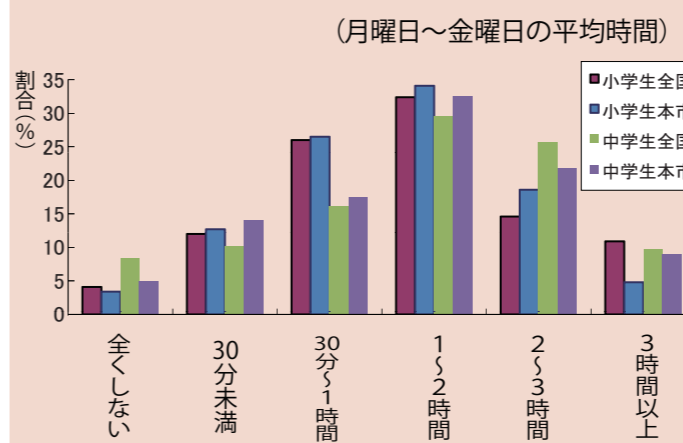


※中学校の数学の平均回答率が低いのは全国的な傾向です。

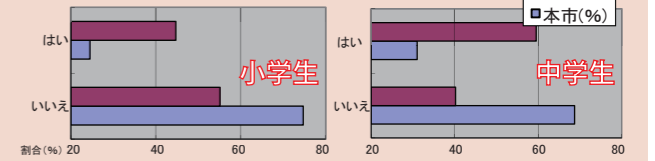
Q4. なぜこのような結果になったのですか？

それではこの原因を探るために、学習状況面の学習習慣の結果を見てみましょう。

学校外でどれだけの時間勉強をしていますか？



学習塾で勉強をしていますか？

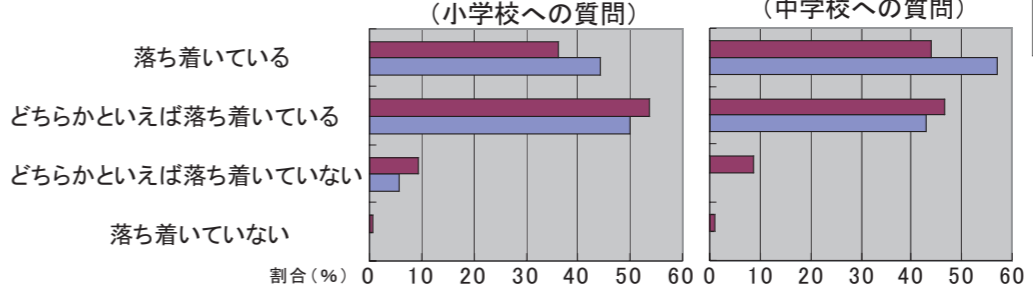


志布志市の子どもたちは総じて学習時間が少ないようです。もちろん、学習時間が多ければ必ず学力が向上するというわけではありません。しかし**十分な予習や復習の時間の確保**は大切です。

学習の成果を高めるためには、**学習の量とともに質とのバランス**が必要です。学校においては学力の向上を図るための**授業改善**を図るとともに、家庭における**学習方法**の工夫も必要となります。

学校へはこんな質問もありました

授業中は私語が少なく落ち着いていますか？

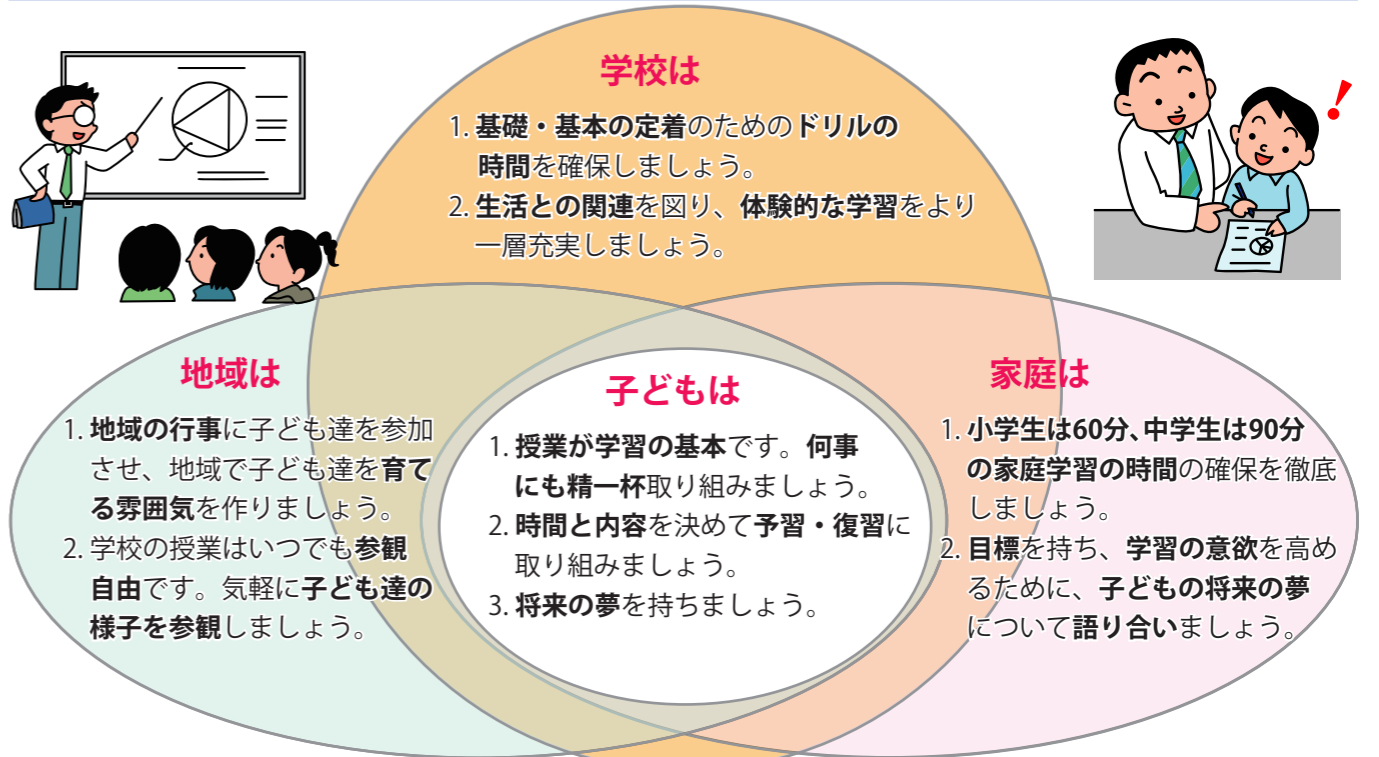


志布志市の小学生、中学生の授業中の態度は良好といえます。

Q5. 私たち志布志市の大人と子どもはこれから何をすればいいのですか？

以上のことから、学力が思うように上がらないのは、勉強することへの興味・関心の低さや**学習時間の少なさ**が原因の一つと考えられます。教育委員会も学校も、学力が上がるよう、分析をすすめ、さらに授業改善に取り組んでいきます。地域、家庭でも**家庭学習の時間の確保**をお願いします。

最後に、学力向上へ向けてのこれからの取り組みについてまとめてみます。



大人も子どももこれらに気を付けて、もうすこし頑張ってみましょう。きっとよい成果が表れると思います。

※次号は生活習慣の結果について報告します。

地球にやさしい 新エネルギー の導入に向けて

Vol.10
新エネルギー導入構想について②

市では環境に優しい「新エネルギー」の導入を目指しています。これまで導入に向けた各種調査結果、アンケート結果、導入の基本方針などについて紹介してきましたが、今月は先月に引き続いて、導入の基本方針に基づいた具体的な導入構想について紹介いたします。

●ドラム缶換算原油削減量
………1610本/年
なお、発電したあとに発生する残さは、堆肥の原料などに広く利用することができ、畜産排せつ物は広範囲に点在しているので収集方法の確立が必要です。

- 【想定条件】
排せつ物回収量(豚)………5ト/日(鶏)………3ト/日
- 発電機出力………150瓩
- 発電機効率………94.7%
- 運転時間………350日×24時間
- 【概略収支】
予想収支………864万円/年(業務用電力Aの平均単価を適用)
- システム価格(補助適用後)………9億1千万円
- 【環境効果】
予想発電量………1260MWh/年(約260世帯/年分)
- 二酸化炭素(CO₂)削減量
………699ト/年

●ドラム缶換算原油削減量
………2575本/年
発電過程で廃棄物がほとんど発生せず、木材以外のバイオマスも処理可能ですが、森林からの木材の搬出・収集方法を確立させる必要があります。

- 【想定条件】
原料回収量………4599ト
- 発電機出力………240瓩
- 運転時間………350日×24時間
- 【概略収支】
予想収支………2043万円/年(業務用電力Aの平均単価を適用)
- システム価格(補助適用後)………3億円
- 【環境効果】
予想発電量………2016MWh/年(約420世帯/年分)
- 二酸化炭素(CO₂)削減量
………1119ト/年



次回まで新エネルギーの具体的な導入構想について紹介してまいります。

- ドラム缶換算原油削減量
………4471本/年
現在のし尿処分方法と比較すると、処理費用を抑えることができ、ガスエンジンの耐用年数を考慮する必要があります。
- 【環境効果】
予想発電量………3500MWh/年(約730世帯/年分)
- 二酸化炭素(CO₂)削減量
………1943ト/年
- 【想定条件】
し尿回収量………2万192kl/年
- 発電機出力………1,000瓩
- 運転時間………350日×10時間
- 【概略収支】
予想収支………4180万円/年(業務用電力Aの平均単価を適用)
- システム価格(補助適用後)………1億円

畜産バイオマスについて
市の基幹産業である農業の粗生産額のうち、畜産部門は約半分を占めており、中でも特に牛、豚及び鶏が盛んです。そこから発生する排せつ物については、現在ほとんど堆肥化されていますが、豚及び鶏については排せつ物の方が堆肥の需要を上回っています。そこで、メタン発酵による畜産排せつ物処理プラントについて具体的に検討をいたしました。



出所：高千穂牧場バイオガスプラント

林産バイオマスについて
市の総面積の約5割は森林で、その中でもスギやヒノキが多くを占めています。森林から発生する利用されていない間伐材に加えて、製材所で排出される余材チップ、建築廃材などを活用するため、それらをチップ化してから可燃性ガスを取り出し、発電機により発電を行うシステムについて具体的に検討をいたしました。

消化ガスバイオマスについて
現在、廃棄物処理業者によって収集されているし尿や、農業集落排水で排出される汚泥の一部は曾於南部厚生事務組合で処分されていますが、それらを利用して消化ガスを発生させ、発電を行うシステムについて具体的に検討をいたしました。

バイオマスエネルギーの導入構想

図書館へ行こう！

明けましておめでとうございます。

今年も、市立図書館を、子育てに、生涯学習に、情報収集に広くご利用いただき、市民の皆様と一緒に、図書館の充実・発展に努めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

図書館情報

★BOOKS

●：休館日
○かみふうせん読み聞かせ会 14時～
○本館読み聞かせ会 14時～

休館日カレンダー(本館)

January 1月						
日	月	火	水	木	金	土
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		
February 2月						
日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23

新刊案内

■「ツバサ」 ともみつ 著
その町は、海と山に囲まれた美しい小さな島だった。10年前の事故と父の手紙に残された謎。そして、平和な島にもたらされた奇跡と悪夢の関係とは？心を失った小年と心を見つけてはいけぬ少女の物語。

■「ALWAYS」 小木田 十 著
現在公開中の映画「ALWAYS 続・三丁目の夕日」の完全ノベライズ。芥川竜之介や鈴木オートの面々をはじめ、宅間先生やタバコ屋のキン……。夕日町三丁目では以前にも増してにぎやかであたたかなドラマが繰り広げられる。

今月のテーマ図書「ふゆ」



今月のテーマ図書「今年の干支 ねずみ」



市立図書館は地域の情報発信の源であり、市民の生涯学習を支援する拠点施設です。

本館、分館でクリスマス読書会
12月22日(土)に図書館主催のクリスマス読書会が開催されました。本館のほか、各分館でも開催され、たくさんの参加がありました。ボランティアグループと職員による人形劇や絵本の読み聞かせなどの催し物のほかサンタさんからのプレゼントもあり、子どもたちには楽しいひと時となったようです。



松山分館の読み聞かせ



本館の読み聞かせの様子



有明分館のクリスマスお話し会

毎月23日は「子どもといっしょに読書の日」

各分館の催し物

- 志布志分館 1月26日(土) 午前10時30～ こま作り
- 有明分館 1月19日(土) 午後2時～ お話し会
- 安楽 " 1月26日(土) 午後2時～ "

※女性支援相談室・フリーダイヤルをご利用ください

■相談室開設日：毎月第1・3水曜日午後1時～5時 ■開設場所：有明改善センター内

■フリーダイヤル（平日、午前8時30分～午後5時） Tel 0120-786-054（なやむ・おじょ）

■問い合わせ先 企画政策課男女共同参画係 Tel 474-1111（内線 250・256）

「男女共同参画に関する住民意識調査報告書」は、市のホームページや図書館、公民館で閲覧することができます。



男女で作る うるおいと活力あるまち

あなたの悩みは私の悩み！

みんなが主役の講演会 ～ 私にもひとこと言わせて ～

日時：平成20年2月9日(土)
13:00～16:15
会場：アピア2階ホール

ご参加、お待ちしております。

10代から80代女性を対象に実施したアンケートの回答により それぞれの年代別の悩みや問題をみんなで語り合い、解決しましょう！

スケジュール

13:00～13:30	受付	14:45～15:05	休憩（ティータイム）
13:30～13:35	開会のあいさつ	15:05～15:30	ワークショップ結果発表
13:35～13:40	市長あいさつ	15:30～15:40	会場からの自由意見
13:40～13:45	オープニングアトラクション	15:40～16:10	講評・まとめ
13:45～14:00	市民の声（年代別テーマ）発表	16:10～16:15	閉会のあいさつ
14:00～14:45	ワークショップ（年代別テーマで協議）		

年代別テーマ

- 10歳代テーマ 「残りたいたい！でも残れない！ もっと職場を！」
- 20歳代テーマ 「もっと熱くなろう、若者よ！」
- 30歳代テーマ 「子育てと仕事の両立のためには？」
- 40歳代テーマ 「私が元気に働くためには？」
- 50歳代テーマ 「みんなが安心して暮らせるまちって？」
- 60歳代テーマ 「おじよたちよ。出番だよ。」
- 70歳代テーマ 「あたたかやうど！ 地域のためにきばっど！」
- 80歳代テーマ 「合併したどん、実感ある？ ない？」

託児をご利用ください。



■参加申込・託児申込・問い合わせ先
市役所企画政策課女性支援対策室 Tel 474-1111（内線 250・256） Fax474-2281
E-mail: kyoudousankaku@city.shibushi.lg.jp

※申し込みは1月31日（木）までをお願いします。

オープニングアトラクション
★チーム有明どっこいしょによる「フロムじぶし」の合唱とよさこいの演舞
★鹿屋体育大学萩裕美子教授による講評・まとめ
★甘茶・お茶・珈琲と手作りお菓子の振る舞いもあります

“みんなが主役の講演会～私にもひとこと言わせて～”を開催します！

「志布志市男女共同参画基本計画（案）」に対する意見を募集します

市では、男女共同参画社会の実現のために、男女がともに認め合いいきいきと輝くまちづくりを目指した志布志市男女共同参画基本計画（案）を策定しています。

今回、市民の皆様の意見を行政に反映させるためパブリックコメントを実施し、計画案に対するご意見を募集します。皆様から寄せられましたご意見は、計画策定の参考にさせていただきます。

パブリックコメントは、市役所本庁（企画政策課）、各支所（地域振興課）窓口及び市ホームページで行っています。詳しくは、市役所企画政策課男女共同参画係にお問い合わせください。

■意見募集期間 1月21日（月）から2月3日（日）まで

健康についての様々な相談にいつでも応じています。お気軽にお問い合わせください。

本庁保健課 Tel 474-1111 志布志支所福祉課 Tel 472-1111 松山支所福祉課 Tel 487-2111



認知症を学び地域で支えよう②



認知症は予防できる？
発症のリスクを少なくする
認知症の大きな要因に年齢があります。このため、認知症は防ぎようがないと思われがちです。しかし、認知症の約2割を占める脳血管性認知症の予防には、高血圧や高脂血症、肥満などの対策がとて有効です。また、アルツハイマー病でも運動をはじめとする生活習慣病対策が発症を遅らせることが示されています。

認知症はただでもなる可能性のある病気です。いつ自分や家族が、友人が認知症になるかわかりません。「認知症を地域で支える」というのも、何か特別なことを始めようというわけではありません。認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守ることからはじめましょう。

周囲が疲れる精神症状
例えば、大事なものをいつもの場所ではなく、違う場所にしまいこみ、すっかり忘れてしまい「通帳がなくなった」と始まります。人に頼らず、自立して生きていきたいという気持ち強い人は、自分が忘れるわけなどないと思うあまり、そばで世話をしてくれている人が盗んだという、もの盗られ妄想もしばしばみられます。無くした物がでてくれば治まりますので、疑われている介護者が疲れないように心理的な支援をすることが大事です。また、早めに専門医に相談することが重要です。

脳活性化を図る
脳の活性化には、いろいろな方法がありますが、大切なことは楽しく行うことです。音読や計算などの学習、音楽や絵画などの趣味活動を通じ、仲間と楽しく過ごすなかで、前向きな意欲がわいてきます。ただし本人が嫌がることを強要すると、逆効果の場合もありますので注意しましょう。

認知症とは？
認知症とはいろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きの悪くなったために、さまざまな障害が起こり、生活するうえで支障がでている状態です。
●どんな障害・症状があるの？
●記憶障害 たった今したことを忘れてしまったり、何度も同じことを繰り返して質問したりします。
●見当識障害 現在の月日や時刻、自分がどこにいるかなど基本的な状況を把握することが難しくなりま

行動障害への理解
例えば、自宅にいるのに「自分の家に帰る」といって出て行こうとする場合があります。自分の記憶が若い頃に比べて室内が違っていることもあるので、自宅にいることを説明するよりも「一緒に帰りましょう」と近所を散歩したり、本人の世界にあわせて対応していきましよう。「徘徊」といってしまえばそれで終わりですが、原因を想像することで、対応策がでてくることもあります。

早期診断、早期治療が大切です
認知症はどうせ治らない病気だから医療機関に行っても仕方ないと思われがちですが、これは誤った考えです。脳腫瘍や慢性硬膜下血腫などは、外科的な処置で劇的によくなる場合があります。甲状腺ホルモンの異常の場合は、内科的な治療でよくなります。
病気が理解できる時点で受診し、少しずつ理解を深めていけば生活上の障害を軽減でき、その後のトラブル

上手に歯みがき！

12月7日、健康ふれあいプラザで行われた5歳児歯科検診で虫歯の無かった子ども達です。

たけし 武志ちゃん	ゆうき 友樹ちゃん	きよか 清華ちゃん
たいせい 大晟ちゃん	はな 花菜ちゃん	しんのすけ 慎之助ちゃん
ゆうか 優香ちゃん	ゆうき 悠生ちゃん	まさや 舞沙ちゃん

みんなでつくる共生・協働・自立のまちづくり

柳谷町内会への視察 Vol.1

地域づくりには良きリーダーの存在が不可欠です。「地域づくりは、地域住民を主人公に、どのような地域にするか物語を描くこと。情熱のあるリーダーには必ず人がついて来る。論ずるより、リーダーが率先垂範してみせることが大切」との持論のもと、活動を続けているのは鹿屋市の豊重哲郎柳谷町内会長です。今回、豊重会長のノウハウを学ぼうと、リーダー養成塾に参加しました。

この研修の報告をもとに皆さんと一緒に、これからの地域リーダー像について一緒に考えてみませんか。研修で、まず豊重先生が言われたことは、集落活動の中のリーダー（仕掛け人）の大切さでした。そのリーダーに必要なことについて、自分の体験を交えて話されました。集落活動やリーダーに必要なこととして、特に印象に残ったことは、次のようなことでした。

- 使命感・責任感をもたなければならぬ。(命を掛けて、他人のせいにはしない)
- 不満・不安など、地域の不を探ることが活動のヒント。
- 補助金に頼っては、活動からの感動は得られない。↓自主財源の必要性↓遊休地に甘しよを。
- 「命令しない」、「自ら率先して動

く ↓ 仲間意識、感動

- 過疎高齢化 ↓ 空き家の活用(集落が整備) ↓ アーティストを招く ↓ 集落の文化向上・子どもたちが住み続けて行きたい集落。
- 予告、予定、予言、人の予を知る
- ことが大切。↓ 行動・積み重ね
- 納豆は一粒ずつ食べても美味しく
- ない。交ぜ合わせて味がでる。↓ 集落も同じ。
- Howではなく、Whyを大事に。(方法論ではなく、なぜそうするのかが大)

この研修を通じて、リーダーは「使命感」と「責任感」を持たなければいけないということ学びました。

人を動かすには「情」「感動」が大切です。次号ではその2つを生み出す方法について紹介します。



豊重会長(前列中央)と研修に参加した皆さん

安楽舞踊同好会

三鐘流の堂園悦子先生を師とし、安楽舞踊同好会は結成されてから20年になります。

活動内容は、毎週水曜日に安楽公民館で夜8時から約2時間程、和気あいあいの中で練習に打ち込んでいます。

安楽地区の夏祭りの参加や秋の芸術祭での発表、高齢者施設などの訪問等、様々なイベントに参加し発表を行っています。

舞踊と一口にいっても流派が違い、踊りの内容も様々ですが、この同好会では芸術性の高い新舞踊や古典的な表現の踊りも練習を行います。演歌調の曲に振り付けされたものを主に練習しています。

また、民謡調の踊りや洋舞調の踊りも練習します。扇子や傘、手拭い等のほか踊りによっては様々な小道具を使って表現します。

堂園先生の指導のもとで、体全体で表現をする舞踊の練習を行うことで、会員は自然に足や腰が強くなっていくのを感じます。



安楽舞踊同好会の皆さん

舞踊は幼い子ども達から、高齢の方まで老若男女が楽しめ親しめるものです。

大きな舞台で自分の表現力を発揮するということ楽しみもあります。

子ども舞踊同好会も毎週活動を行います。下は3歳から練習を頑張っています。男性の会員も一緒に毎回楽しく練習しています。

ぜひ、皆さんも一緒に新舞踊に参加し練習してみませんか？

■連絡先 安楽舞踊同好会
Tel.090-7533-13521 (堂園)

平成20年
4月から

国保の医療制度が変わります！

市報しぶし平成19年10月号に掲載した内容について国の協議により一部変更が生じたのでお知らせします。皆様のご理解とご協力をお願いします。

70歳以上75歳未満の人(現役並み所得者以外)の自己負担割合が2割になります

↓ となっていました...

政府の方針により、この見直しが1年間凍結され現行の1割のまま据え置かれます

●70歳以上75歳未満の人がお医者さんにかかった時の自己負担割合が1割から2割に引き上げられる予定でしたが、1年間凍結されることになりました。現役並み所得者は3割で変わりありません。

70歳以上75歳未満の人(一般)の自己負担限度額が引き上げられます

●医療費が高額になったときに支払う自己負担には限度額が設けられていますが、自己負担割合の変更に伴い70歳以上75歳未満の人(一般)の自己負担限度額が引き上げられます。自己負担限度額は下記のとおりとなります。

平成21年3月31日まで	
外来(個人ごと)	外来+入院(世帯単位)
12,000円	44,400円

平成21年4月1日から	
外来(個人ごと)	外来+入院(世帯単位)
24,600円	62,100円 <44,400円※>

※過去12か月以内に外来+入院の自己負担限度額を超えた高額療養費の支給が4回以上あった場合の4回目以降の限度額。

義務教育就学前の子どもの自己負担割合が2割になります

●乳幼児の医療費を2割負担に軽減する対象年齢が、「3歳未満」から「義務教育就学(小学校入学)前」までに拡大されます(6歳に達する日以降の最初の3月31日まで)。

65歳以上の人の保険税の年金天引きが始まります

65歳以上の国保加入者の保険税(料)納付について、年金からの天引き(特別徴収)が始まります。ただし、年金額が年額18万円未満の場合や介護保険料の天引きとあわせて額が年金額の2分の1を超える場合は、天引きは実施されません。この場合は、個別に保険税(料)を納めることになります(普通徴収)。

※上記の『国保医療制度改正』につきましては、市議会の議決が必要となるものがあります。

療養病床入院時の「食費・居住費」負担の対象年齢が65歳以上になります

●70歳以上と老人保健で医療を受ける人が療養病床に入院するとき、食費と居住費を自己負担しますが、その対象年齢が65歳以上に変わります。

高額医療・高額介護合算制度が創設されます。

●医療費が高額になった世帯に介護保険の受給者がいる場合、医療保険と介護保険のそれぞれの自己負担限度額適用後に、両方の年間の自己負担を合算して一定の限度額(年額)を超えた場合は、超えた分が支給される高額医療・高額介護合算制度が創設されます。



◆平成20年4月からこうなります◆

医療費の自己負担額と介護保険サービスの利用料が合算できるようになります。(高額医療・高額介護合算制度)。それぞれの限度額を適用後、年間の自己負担を合算して高額になったときは、限度額(年額)を超えた分が「高額介護合算療養費」として支給されます。

	70歳以上75歳未満		後期高齢者医療		70歳未満	
	一般	現役並み所得者	一般	現役並み所得者	一般	現役並み所得者
高額介護合算療養費の自己負担限度額(年額/予定)	62万円	67万円	56万円	67万円	67万円	126万円
	31万円	31万円	31万円	31万円	19万円	19万円
	19万円	19万円	19万円	19万円	34万円	34万円

退職者医療制度の対象年齢が65歳未満になります

●会社などを退職して国保に加入し、被用者年金(厚生年金など)を受けられる75歳未満の人とその被扶養者は退職者医療制度で医療を受けますが、平成20年4月からその対象が65歳未満に変わります。65歳になりますと、一般の国保の加入者となります。

65歳以上の人の保険税の年金天引きが始まります

65歳以上の国保加入者の保険税(料)納付について、年金からの天引き(特別徴収)が始まります。ただし、年金額が年額18万円未満の場合や介護保険料の天引きとあわせて額が年金額の2分の1を超える場合は、天引きは実施されません。この場合は、個別に保険税(料)を納めることになります(普通徴収)。



有明町野井倉

野村さん (84歳)

「自分では年をとったとは感じないんですよ」と話す野村さんは、毎朝5時30分に起床して早めに朝食を食べます。ちなみに朝食は牛乳に黒ゴマが白ゴマを入れたものと食パンで済ませます。その後、自宅近くの海岸沿いを1時間ほど散歩します。

「戦時中は夫は戦艦武蔵の乗組員で、沈没した際の270人程の生存者のひとりでした」と話し、終戦後は夫婦で農業に精を出しました。

今まで、風邪をひいたことはあまりないという野村さんですが、58歳のときに大病を患って1か月間入院したとき、髪を長く結っていたのに手術の際に短くカットされたのはショックだったと笑います。

隣に子ども夫婦が住んでいるのですが、毎日自炊を行い、自宅の畑で花や季節の野菜を作り、夏はハマグリを採るなど、毎日の暮らしに楽しみを見つけ「ストレス」を溜めないことが元気の秘訣といいます。でも一番の楽しみは毎日のグラウンドゴルフの練習で友人に会うことだといいます。

孫やひ孫の成長を楽しみに日常を大切にしながら心豊かに暮らしています。



グラウンドゴルフが元気の素!

あたらや
元気やうとど

有明町野井倉



優ちゃん (4歳) 松山町尾野見
智也ちゃん (1歳)

父 健さん 母 那智さん

二人とも、良く食べ、良く遊び、良く寝て、元気に育てください。

そして、ときにはケンカもするかもしれないけど、姉弟仲良くね!

(両親より)



雅脩ちゃん (5歳) (有明町野神)
琳生ちゃん (3歳)

父 剛さん 母 和代さん

車が大好きなやさしいお兄ちゃんは、自転車に乗れるようになりました。

歌が大好きなおてんば娘は、最近プリキュア5 (ファイブ) にはまっています。

時々、けんかもするけれど、いつも元気な仲よし兄弟です。

(両親より)



莉乃ちゃん (1歳) (志布志町帖)

父 勝志さん 母 マリさん

最近、ようやく歩けるようになりお出掛けするのを楽しんでいます。

いろいろな事を覚え、真似をしては、周りを癒してくれています。これからもいろんな場で、そういう存在であってほしいと願っています。(両親より)

(松山町新橋) 29歳



つよし 剛志さん

勤務先: (有) そおりサイクルセンター

趣味: 野球 (ピッチャー)

理想の異性: 向上心を持っている方

余暇の過ごし方: ラーメン屋巡り

今のお仕事はどうか?: やさしい上司とかわいい後輩達と楽しくやっています。

夢は: 結婚……

志布志市に何を望みますか: 目指せ! リサイクル率100%!!

友人から一言 (N.T): 仕事には積極的な剛志ですが、異性にはまるっきり消極的。仕事の時の情熱を少しだけ異性にかたむけて早く彼女を見つけてね! (社員一同)

文芸

短歌 (有明短歌会)

満月にオーストラリアらしおぼろ影皆既月食脳裏に去らず
直線の路傍につづく水田に今が盛りのコスモスロード
通院の病める心を癒しける延延つづくコスモスの笑顔
新米に干し魚沢庵みそ汁のありて満たりぬ戦中育ち
ツアーで行く黒部ダムへの階段を退院浅し妻に先越さる
輝ける黄金色の風景にもろ手合せて暫し佇む
釣り人の埠頭に居並び賑わいに我も混じりて暫し語らう
留め袖に濃い目に紅の晴れ姿慎みて干す金婚の杯
山裾の斜面に広がる柿畑のたわわに実る別府の旅路
鈴の音と共に手向けるコスモスに微笑む姉の写し絵の中

畑山みつぎ
福元 忍
徳田 将人
矢野 むつ
野口 嵐
川崎 サチ
出口 幸生
澤津川頼子
萩 幸子
木下マキ子

川柳 (志布志川柳会)

ガソリンの高値二の足踏む遠出 橋口 昭治
ぼんやりと眺めた雲に母の顔 西 悦子
宇宙から眺める地球ゴミはなし 高田 秀雄
ポイ捨てのゴミに暮らしの様をみる 坂本 俊幸
ウイルスも飛び回るならたたくのに 上東マキエ
野心家が大連立の策を練り 福山 吉連
天下取る野心を胸に小沢党 末永 一雄
野心燃え日夜励んだ遠い日々 赤池 忠重
野心捨て分相応でつつがなし 江藤 房子
世渡りへ程よい野心張りになる 高田 昭秋
野心など捨てて気楽な里暮らし 内山 幸夫

俳句 (はつはな俳句会)

庭仕事終へゆつたりと冬至風呂 八久保千鶴子
冬晴の空へ放鳥植樹祭 本村 湧水
日向ぼこ髪切らねばと思ひつつ 春日 ふう
棧橋に釣り人並び冬ぬくし 飯野須美子
息白く一歩一歩と脚高く 坂中 恭子
種採って花の命をしまひけり 坂元 幸子
ページ繰る音もかそけき夜長かな 春田 良子
落葉降る大樹の寝息かもしれず 本村多可子

俳句 (志布志句会)

ガラス割れ筋書のない冬日中
文明はガラスの破片雪こんこん
それぞれに進む道あり花八手
生き残りいて行く年を軽く踏む
数へ日や問屋の集金あと三つ
秋櫻ガラスの綺羅が眩しくて
氏神は小さな祠花八手
十二月時間の流れる音がする

吉田 十二
暉峻 康瑞
坪田 秀邑
永山 又生
森 真砂人
肥後 洋子
山本 節子
天水美穂子



松山神社の年越し



白鳥神社の浦安の舞



安楽地区ふるさとづくり委員会による手作りのプラジター



真冬のひまわり (松山地区)

短歌 (はなさい短歌会)

去年今年指さす方に水仙は暁光浴びて身じろぎもせず
宝くじ夢買う人が列をなす年末せわしきデパートの角
寒かると吹きかける息よわくとも心に届く母のぬくもり
レモンガラスの香り拡がるリビングの窓に木立の影が寄り来る
黎明に飛び立つツルを数え続け一万二千羽熱き心よ
子ら去りてサンタも来ぬ家ふる里は雪の白さの山茶花に染まる
年重ね丸くなりゆく母の背が愛しく手を添え国道わたる
杉林木漏れ日の中しいたけが慈雨に誘われ一斉に芽ぐむ

南 史郎
江藏 成子
下戸富美子
篠田 紀子
中園 茂甚
日高 禎子
福岡セツ子
牧 愛子



さらり青春

今月の納税

納付期限 1月25日 口座振替日 1月25日
口座振替をされる方は、口座振替日の前日までに残高確認をお願いします。

国民健康保険税 (9期) 介護保険料 (9期)

不動産公売のお知らせ

不動産の公売を実施します。参加を希望する方、また、詳しく知りたい方は、本庁税務課滞納整理係までお問い合わせください。

入札日時
3月5日(水) 9時30分

入札場所
市役所本庁別館会議室A

物件	場所・地目・面積等	
1	志布志市有明町野井倉 5983-1	畑
	967㎡	農振農用地
2	志布志市有明町野井倉 8341-8	畑
	600㎡	不整形地
3	志布志市有明町山重 10910-2	雑種地
	326㎡	三角地・地下構造物有

※いずれも公簿表示で現況渡しとします。また、公売中止になる場合もあります。

※市税滞納者及び国税徴収法第92条に規定する人は、買受人になることができません。

※なお、詳細については市のホームページにも掲載しています。

問い合わせ先
本庁税務課滞納整理係
Tel. 474-1111 (内線152・158)

ねんきん特別便の発送が開始されました!

■「ねんきん特別便」の送付スケジュール(社会保険庁ホームページ <http://www.sia.go.jp> でも確認できます)

平成19年	平成20年						⇒	10月
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
⇒未統合記録と三情報がすべて一致、記録が結び付くと推定される人	⇒未統合記録と三情報の一部が一致、同一人と推定できる場合で、記録が結び付くと推定される人	⇒すでに年金を受け取っているその他の人				⇒今後年金を受け取る予定のその他の人		

※三情報は、ここでは氏名・性別・生年月日のことです。

基礎年金番号に未統合の年金記録約5千万件を基礎年金番号に結びつける名寄せ(氏名・性別・生年月日の突き合わせ)が進められています。

昨年12月からは、記録が結び付くと思われ人には年金の加入履歴等を知らせる「ねんきん特別便」が送られています。

結びつく可能性のある人から送付

現在、年金記録は平成9年1月に導入された基礎年金番号で管理されています。しかし、その前は、転職や加入する年金制度が変わるたびに年金番号が付けられることもあり、複数の年金番号を持つ人も多く、基礎年金番号導入時には全体で3億件ほどの年金記録がありました。その後、年金の裁定請求時や名寄せにより、番号が統合されていきましたが、平成18年6月時点で約5千万件の年金記録が未統合のまま残りました。

そこで、社会保険庁では名寄せのシステムを開発して、昨年11月から照合作業に本格的に着手しました。それにより、記録が結びつくと思われる人には12月から「ねんきん特別便」を順次送付しています。

忘れずに確認結果を返送する

記録が結びつくと思われる人と8歳到達者に送付される「ねんきん特別便」には「確認はがき」と「年金加入記録照会票」が同封されます。

送られてきた「ねんきん特別便(年金記録のお知らせ)」をよく確認したうえで、記録内容に間違いがない場合は「確認はがき」の「①訂正がない」を○で囲み「確認はがき」だけ切り取って社会保険業務センターに返送してください。

一方、記載内容の加入記録に訂正の必要がある場合は「確認はがき」の「②訂正がある」を○で囲み「確認はがき」は切り取らずに「年金加入記録照会票」に必要事項を記入し、被保険者は同封の封筒に入れて社会保険業務センターに返送します。年金受給者は「年金加入記録照会票」に年金証書を添えて志布志市役所の本庁・各支所の年金係か鹿屋社会保険事務所に提出します。これで、記録訂正と年金の再裁定の手続きをすることが出来ます。

年金記録問題は、加入者等が必要な手続きを放置していたことも原因のひとつです。自分の年金記録は自覚をもって把握しておくことが大切です。この機会に自分の目で年金記録を確認して、確実な年金給付に結びつけましょう。

「ねんきん特別便」についての問い合わせ先

- ねんきん特別便専用ダイヤル
Tel. 0570-0581555
- 鹿屋社会保険事務所
(全国どこからでも市内通話料金)
Tel. 0994-15121

年金情報

市役所	47411111	(内116)
志布志支所	47211111	(内223)
松山支所	48712111	(内224)

■ Pension information

市の人口 11月30日現在

人口	35,099人	(15)
男	16,503人	(5)
女	18,596人	(10)
転入	83人	転出 65人
出生	34人	死亡 37人
世帯数	15,632戸	(△13)

志布志港 平成19年10月分

資料 鹿児島税関支署

- ①入港隻数 68隻 (日本0、外国68)
- ②輸出 9億87百万円
- ③輸入 110億62百万円



地域活性化住宅入居者の募集

- 市では、下記住宅の入居者を募集しています。
- 住宅の名称及び所在地
原田住宅B棟(1戸) 志布志市有明町原田 1504-7
 - 住宅の規格 木造平屋(1戸建)、3LDK(22.2坪)
 - 家賃月額
 - 小学校以下の子どもが同居するもの 30,000円
 - 上記に掲げる以外のもの 35,000円
 - 入居資格
 - 自ら居住するための住宅を必要とするもののうち、現に同居し、又は同居しようとする親族(婚姻の届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にあるもの、その他婚姻の予約者を含む)があるもの
 - 現に住居に困っているもの(既公営住宅入居者は不可)
 - 市町村税の滞納のないもの

- 優先順位 (活性化住宅は、民間活力を導入しながら、児童数の減少を防ぎ、地域の活性化を図る目的として、一戸建(家族向け)を低家賃で提供する市営住宅です。)
 1. 市外居住者で、小学生の子が同居するもの。
 2. 市外居住者で、未就学児が同居するもの。
 3. 市内居住者(校区外)で、小学生の子が同居するもの。
 4. 市内居住者(校区外)で、未就学児が同居するもの。
 5. 校区内居住者で、未就学児が同居するもの。

※ただし、同居する人数や年齢を考慮する。
- 入居者の決定方法
優先順位により選考し、同条件の場合は公開抽選による。
- 募集期間 1月31日(木)午後5時まで
- 入居資格、添付書類につきましては下記までお問い合わせください。
- 申込み・問い合わせ先
市役所管理課 管理係 Tel. 474-1111 (内線 467)



このコーナーにつきましてはインターネット版ではご覧になれません。ご了承ください。

おくやみ
ご冥福をお祈りします

所得税・住民税の申告を

される皆様へ

要介護認定を受けた方の障害者控除について

市の福祉事務所では、市内に住所がある65歳以上で要介護(支援)認定を受けた方が、寝たきりや認知症の状態などで、一定の要件に該当し「障害者に準ずる人」として認められた場合に「障害者控除対象者認定書」を発行しています。

この認定書を添付して所得税や住民税の申告をすると、障害者または特別障害者に準ずる者として、本人またはその扶養者が障害者控除を受けることができます。

認定書の発行を希望される場合は、左記の窓口へ申請書を準備していただきます。

申請書は、記入・押印のうえ申請してください。(認定書の発行には、まず申請が必要です)

- 申請受付・問い合わせ先
福祉事務所(本庁市役所福祉課内)
松山支所福祉課福祉係
志布志支所福祉課高齢者福祉係

しあわせウォーク

都城志布志道路 ウォーキング大会

都城志布志道路の一部区間の開通記念イベントとして、ウォーキング大会を開催します。

- 受付開始 9時
開会式 9時30分
ウォーキング大会 10時

※当日は暖かい服装の準備をお願いします。また5℃程度のウォーキングとなりますので、各自飲み物の準備をお願いします。

- 問い合わせ先
県大隅地域振興局道路建設係
志布志市役所企画政策課

電子証明書の取得はお早めに

電子証明書をご存知ですか?電子証明書は、住民が安心してインターネットを通じて国や地方の行政機関が行う電子申請・届出等の行政サービスを受け



この電子証明書については、平成19年度税制改正で、取得促進を目的として、電子証明書を有する個人の電子申告に係る所得税額の特別控除制度が創設されました。

この機会に電子証明書とICカードリーダーを取得してご利用されてはいかがですか?

市役所の窓口が混み合う場合がありますので、電子証明書の取得は

志布志市指名競争入札の参加者を募集します

平成20年度及び21年度の志布志市の指名競争入札の参加者を募集します。



- 参加資格申請提出要綱について
募集区分につきましては
1. 建設工事
2. 建設コンサルタント業務等
3. 物品購入等

その区分ごととなります。それぞれ、提出様式・提出期間など異なりますので、市ホームページなど参考いただき申請くださるようお願いいたします。

- 問い合わせ先
市役所財務課契約係
建設工事の募集区分について
市内事業所で指名を受ける場合

お早めにお願ひします。

電子証明書の取得

Table with columns: 発行手数料, 有効期限, 電子証明書. Values: 500円, 10年, 500円, 3年.

市役所窓口で、住民基本台帳カード(住基カード)を入手し、申請書等を提出して取得できます。

- 住基カード
電子証明書(公的個人認証)
ICカードリーダー

- 問い合わせ先
市役所市民課市民係
松山支所市民課市民係
志布志支所市民課市民係

組織再編計画を策定しました

4月から部制を廃止し、課制へ移行します

市では、住民サービスを低下させないことを念頭に、行財政改革

書の添付提出をお願いいたします。

- 物品購入等の募集について
志布志市との契約額が1件当り5万円未満のみの事業所及び個人にあつては、提出書類が一部省略されます。

- 問い合わせ先
市役所財務課契約係
志布志市有明町野井倉1756番地

無人ヘリコプターのオペレータを養成します

財)志布志市農業公社では次のとおり水稲防除を行う無人ヘリコプターのオペレータを養成します。

- 受講資格
① 満18歳以上で、普通免許を所有し四肢に異常のない方
② 2月中旬頃に行う15日間の養成講座に参加できる方
③ 6月から9月までに行う水稲防除作業に従事できる方

- 募集人数 1人
募集期間 1月25日(金)まで
土日を除く8時から17時まで
財団法人志布志市農業公社本所

農地や農業者年金に関する相談は、農業委員や農業委員会事務局にご相談ください。

国民宿舎の指定管理者が決定しました

平成19年9月から10月にかけて行った「国民宿舎ポルベリアダグリ及び展望台」の指定管理者の公募には、3団体から応募があり、審査の結果「株式会社休暇村サージャス(本社・東京都)」が指定管理候補者として選定され、12月議会において、指定管理者として議決されました。

平成20年4月から、国民宿舎ポルベリアダグリの管理運営は、株式会社休暇村サージャスが行うこととなります。

- 問い合わせ先
市役所 港湾商工課
市役所 港湾商工課

救急車の適正利用について

大隅曾於地区消防組合では、皆様の安心・安全を守るため、北部消防署に2台、輝北分署に1台、財部分署に1台、南部消防署に2台の救急車を配置して24時間体制で対応しています。

- こんな使い方をしていませんか?
① この病院へ行けばよいかわからなかった
② 夜間・休日診療時間外だった
③ 交通手段がなかった
④ 救急車で病院に行ったほうが優先的に診てくれると思った

緊急性が無いのに救急車を要請すると、本当に救急車を必要とする時に救急車の到着が遅れ、救える命が救えなくなるおそれがあります。

- 問い合わせ先
大隅曾於地区消防組合警防課警防係

九州電力からの「お・ね・が・い」 クレーン作業等を行う前に 作業をしましょう
Illustration of a crane and a truck with text: クレーン使用, トラック両上り・トラックをあげたまま走行



「こころの病」に悩む家族の教室 開催のお知らせ

志布志保健所では、2月から精神障害(統合失調症)を持つ方の御家族を対象に教室を開催します。この教室をとおして、家族の方々に病気の経過や治療方法、家族の対応について等この病気に対する認識を深めていただくとともに、同じ悩みを抱えた方々が互いに共感しあえる機会となればと考えています。教室について詳しくお聞きになりたい方、参加申し込みをされたい方は志布志保健所までお問い合わせください。

- 日程
 - 第1回 2月8日(金) 13:30～16:00 病気について
 - 第2回 2月22日(金) 13:30～16:00 福祉制度等について
 - 第3回 3月3日(月) 13:30～16:30 家族の接し方について
- 場所 大崎町保健センター
- 対象者 精神障害者(統合失調症)の御家族
- 受講料 無料

問い合わせ先 志布志保健所保健係 TEL 472-1021 担当:北

ボート免許の更新・失効講習のお知らせ

- 日時 1月27日(日) (18:00 受付 18:30 講習開始)
- 場所 志布志市文化会館
- 受講料 更新講習料 8,600円(送料込み)
失効講習料 14,600円(送料込み)



- 必要書類 ①現有ボート免許
②本籍記載の「住民票」1通
③写真2枚(縦4.5cm×横3.5cm)

問い合わせ先 鹿児島海技免許センター TEL 099-224-6180

法務局サンデー相談

- 日時 1月27日(日) 10:00～16:00
- 場所 鹿屋市中央公民館
- 相談の内容
 - 登記 土地・建物の売買・相続等、土地の境界線問題、その他不動産登記関係全般、会社・法人の設立等登記全般
 - 戸籍・国籍 出生・婚姻・養子縁組・帰化等の問題
 - 供託 土地建物の地代家賃の弁済のためにする供託 裁判上の保証供託のような担保のためにする供託 強制執行のためにする供託の問題
 - 人権 家庭内暴力、家族間の問題、差別、いじめ、遺言等
- 相談員 法務局職員(相談は無料で、秘密は固く守られます)
- ※どんなご相談でもお気軽にお越しください。

問い合わせ先 鹿児島地方法務局鹿屋支局総務課
TEL 0994-43-6790 (内線 41)

任期制自衛官募集! 2等 陸・海・空士

- 受付期間 2月20日(水)まで
- 試験日時 3月1日(土)
- 試験会場 陸上自衛隊 国分駐屯地
- 応募資格 18歳以上27歳未満の男子(採用予定日1日現在)
- 処遇等
 - 身分 特別職国家公務員
 - 給与 初任給 157,500円
9ヵ月後 172,100円
賞与 年2回
 - 休日・休暇 週休2日制 年次休暇年間24日
夏季及び年末年始休暇
 - 衣・食・住 無料及び貸与
- 試験内容 国語、数学、社会及び作文(中学卒業程度)
口述試験 適性検査及び身体検査
- 入隊予定 平成20年3月又は4月

お問い合わせ先 自衛隊鹿児島地方協力本部
大隅地域事務所 TEL 099-482-1405

※市報しぶしでは現在、有料広告を募集しています。掲載希望の方は市役所総務課秘書広報係までお問い合わせください。(TEL 474-1111 (内線 215))

【広告例】
○企業などの宣伝広告
○企業などの求人広告
○臨時的なアルバイト募集
○商店街などのイベント告知など
■広告の掲載規格
1 枠当たり縦56ミリ、横90ミリ
メートルとし、1 広告当たり2 枠を限度とします。
■広告掲載料
1 枠当たり月額1 万円(2 枠の場合2 万円)
■広告掲載申込方法
広告掲載申請書に広告案を添付して掲載希望月の前月20日までに本庁総務課へ提出してください。ただし、次号6月号掲載分については5月25日までとします。広告掲載申請書は本庁総務課に準備してあるほか志布志市ホームページからダウンロードできます。
※市報の公共性、公益性及び中立性を保つため掲載をお断りする場合があります。(内容を審査の上掲載の可否を通知します。)

鹿児島県の美しい風景百景展 in 志布志

鹿児島県の美しい風景百景展を開催します。2月2日のオープニング(12:00～14:00)ではミニコンサートやギャラリートークも行われます。(入場無料)

- 会場 お茶の和香園・茶蔵
- 日時 2月2日(土)～2月11日(月)
9:00～17:00(入館は16:30までをお願いします)
(初日は12:00から・最終日は16:00まで)

問い合わせ先 お茶の和香園・茶蔵 TEL 0120-050-424

韓国フェスタ 2008

韓国の方々と交流しながら、韓国を楽しみましょう!

- 日時 2月23日(土) 13:00～16:00
- 場所 カピックセンター、鹿屋市民族館
- 内容
 - 韓国お好み焼き(チヂミ)交流会【要予約】 1枚300円
 - 韓国すごろく(ユンノリ)大会【要予約】
 - 韓国お菓子、お茶コーナー●韓流サロン、ハンゲル講座
 - 韓国の子供の遊び、民族衣装、楽器体験
 - 韓流サロン、ハンゲル講座クイズに答えてプレゼントをもらおう(先着200名様)

問い合わせ先 カピックセンター(アジア太平洋農村研修センター)
TEL 0994-45-3288 Fax 0994-45-3258
E-mail: kagic111@po3.synapse.ne.jp

1月・2月 休日在宅医診療

- | | | |
|-------|--------------------|--------------|
| 1月13日 | 東郷クリニック(産婦人科) | TEL 473-1035 |
| | はまさき耳鼻咽喉科(耳鼻咽喉科) | TEL 473-3387 |
| 14日 | 井手小児科(小児科) | TEL 473-3211 |
| | みやじクリニック(内科、放、呼、胃) | TEL 471-5000 |
| 20日 | 藤後クリニック(内科) | TEL 472-1237 |
| | 松下医院(内・外科、皮膚科) | TEL 472-1124 |
| 27日 | 陽春堂内科診療所(内科) | TEL 472-5511 |
| | びろうの樹整形外科(整形・内科) | TEL 471-6611 |
| 2月3日 | 井手小児科(小児科) | TEL 473-3211 |
| | びろうの樹整形外科(整形・内科) | TEL 471-6611 |
| 10日 | 藤後クリニック(内科) | TEL 472-1237 |
| | ひろた小児科(小児科) | TEL 471-6111 |
| 11日 | 手塚クリニック(内科、外科) | TEL 472-5565 |
| | 松下医院(内・外科、皮膚科) | TEL 472-1124 |
| 17日 | 大山病院(内科) | TEL 472-1400 |
| | びろうの樹整形外科(整形・内科) | TEL 471-6611 |

※夜間に病気や怪我で困ったときは「曾於郡医師会夜間急病センター(於郡医師会立病院内)」までお問い合わせください。(TEL 482-5899)
※都城市・北諸郡管内の休日の救急診療機関は、電話でのテーブル案内(TEL 0986-23-5555)を行っていますのでご利用ください。

自宅がキャンパス放送大学 ～平成20年度第1学期入学生募集～

放送大学はテレビなどの放送により授業を行う通信制の大学です。働きながら学びたい、生涯学習に興味があるなど、様々な目的で幅広い世代の方が学んでいます。

ただいま平成20年度第1学期の入学生を募集していますので、お気軽にお問い合わせください。

- 募集学生の種類
 - 教養学部(科目履修生・選科履修生・全科履修生)
 - 大学院(修士科目生・修士選科生)

- 受付期限 2月29日(金) 必着
- ※2月16日(土)以降に出願書類が受理された場合には、教材・学生証が学期開始の4月1日(火)に間に合わない場合がありますので、できるだけ2月15日(金)に間に合うように出願してください。
- ※詳しくは下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 放送大学鹿児島学習センター
TEL 099-239-3811 (かごしま県民交流センター内)
URL=http://www.u-air.ac.jp

石油情報センター灯油プロパン消費者モニター募集 総務省承認統計調査です

- 募集数 10,000世帯(全国)
- 応募締切 2月15日(必着)
- 応募要件 灯油またはプロパン利用世帯
- 調査内容 ●月別の使用量、金額
●利用環境(家族人数等)などの基礎事項
- 調査期間 平成20年4月から平成21年3月まで(回答は6か月毎の2回)
- 謝礼 図書カード2000円分
- 応募方法 ホームページ: http://oil-info.ieej.or.jp
Fax: 03-0531-7422
(記載事項はお問い合わせください)

問い合わせ先 石油情報センター TEL 03-3534-7411

水道修繕当番店

■松山地区			
1月	佐藤建設	TEL 487-2049	
2月	濱田建設	TEL 487-2288	
■志布志地区			
1月15日～1月21日	山本組	TEL 472-1101	
1月22日～1月28日	宮崎水道	TEL 472-1081	
1月29日～2月4日	高吉組	TEL 472-0721	
2月5日～2月11日	崎田建設	TEL 473-0050	
2月12日～2月18日	志布志水道	TEL 472-3540	
■有明地区			
1月	山中水道建設	TEL 474-1440	有線 6930
2月	有徳設備工業	TEL 475-1596	有線 5160

志布志市くらしのカレンダー

日曜当番医は39ページに掲載しています

1/17 (木)	行政相談(13:00~16:00 志布志支所5F会議室) 両親学級(9:30~9:40受付 健康ふれあいプラザ) 三種混合予防接種(13:30~14:00受付 アピア2階ホール)	2/1 (金)	生涯学習推進月間(~29日まで)
18 (金)	1歳児歯科相談/育児相談 (13:30~15:00 やっちくふれあいセンター) 原田校区ふれあい移動市長室(18:30~20:30 原田青少年館)	2 (土)	
19 (土)	しぶしKIKI夢発見塾(9:30~16:40 市文化会館) 第35回曾於地区教育振興大会(8:45~ 大崎中央公民館)	3 (日)	田之浦山宮神社ダゴ祭り(田之浦山宮神社)
20 (日)		4 (月)	
21 (月)	心配ごと相談(10:00~15:00 市民センター有明)	5 (火)	心配ごと相談(10:00~15:00 老人福祉センター松山) 心配ごと相談(10:00~15:00 市民センター有明) 劇団四季公演「魔法をすてたマジヨリン」(23頁参照)
22 (火)	心配ごとと行政相談(10:00~15:00 老人福祉センター松山) 1歳児歯科相談(9:30~10:00受付 健康ふれあいプラザ) 育児相談(10:30~12:00 健康ふれあいプラザ)	6 (水)	心配ごと相談(10:00~15:00 健康ふれあいプラザ) 女性支援相談室(13:00~17:00 有明改善センター) 両親学級(9:30~9:40受付 健康ふれあいプラザ) 母子手帳交付(13:30~16:00 本庁保健課窓口)
23 (水)	心配ごと相談(10:00~15:00 健康ふれあいプラザ) 母子手帳交付(9:00~12:00 松山支所福祉課窓口)	7 (木)	2歳児歯科検診(13:00~13:30受付 健康ふれあいプラザ)
24 (木)	無料税務相談(10:00~15:00 志布志支所1F会議室西) 乳児健診/BCG予防接種(13:00~13:30受付 健康ふれあいプラザ) 3歳児健康診査(13:00~13:30受付 健康ふれあいプラザ)	8 (金)	第3回志布志市花いっぱいコンクール締切 三種混合予防接種(13:10~13:30受付 宇都鼻研修センター)
25 (金)		9 (土)	NHK大河ドラマ「篤姫」放送記念「原口泉講演会」 (13:00~14:30 市文化会館) 志布志創年市民大学卒業式(18:00~21:00 市文化会館) みんなが主役の講演会~私にもひとつと言わせて~ (13:00~16:15 サンポートしぶしアピア2階ホール) 安楽山宮神社「春祭り」(安楽山宮神社)
26 (土)	志布志中校区家庭教育講演会(10:00~11:30 市文化会館)	10 (日)	都城志布志道路「松山~有明北開通記念イベント」 ウォーキング大会(37頁参照)
27 (日)	第21回各地区対抗女子駅伝競走大会(霧島市隼人運動場) B&G会長杯バドミントン大会(9:00~ 有明総合体育館)	11 (月)	建国記念の日 掘り出し物市(10:00~ そおりサイクルセンター)
28 (月)		12 (火)	
29 (火)	1歳6か月健康診査/麻しん風しん混合予防接種 (13:00~13:30受付 健康ふれあいプラザ)	13 (水)	心配ごと相談(10:00~15:00 健康ふれあいプラザ) 乳児健診/BCG予防接種(13:00~13:30受付 健康ふれあいプラザ) 3歳児健康診査(13:00~13:30受付 健康ふれあいプラザ) 母子手帳交付(9:00~12:00 松山支所福祉課窓口)
30 (水)	野神校区ふれあい移動市長室(18:30~20:30 野神青少年館) 心配ごと相談(10:00~15:00 健康ふれあいプラザ) 1歳児歯科相談(9:30~10:00受付 宇都鼻研修センター) 育児相談(10:30~12:00 宇都鼻研修センター)	14 (木)	2歳児・5歳児歯科検診 (13:00~13:15受付 やっちくふれあいセンター)
31 (木)			

※志布志支所での母子手帳交付は毎週月曜日の午前中に福祉課窓口で行います。

ニュース・ご意見などありましたら E-mail info@city.shibushi.lg.jp までご一報ください

この広報紙は再生紙を使用しています。

編集後記

▼新年の初めてのあいさつはだれと
したでしょうか？私は松山神社に取
材に行った時に見知らぬ年配の女性
に「あけましておめでとう」と言わ
れ私もあいさつを返しました。▼朝
学校に行く子ども達は「おはようご
ざいます」と元気な声であいさつを
してきます。▼しかし、私達は気が
つけば自分の友人や知人だけにあい
さつをしているのではないでしょう
か？▼「こんにちは」「ありがとうご
ざいます」たった一言が新しい出会
いにつながり、人と人の距離を縮め
ていくことを気付かされた出来事と
なりました。▼さて、志布志市も誕
生して3年目となります。市報「しぶ
しでは「隠れた名所」「小さな伝統行
事」等を紹介できたらと思います。
各地区の素敵な場所やイベントなど
ありましたらご一報ください。(山本)

1月・2月の行事予定

げんき市(昭和通付近)
毎週土・日曜日(9時~15時)

花野果市(田之浦ふるさと交流館)
1月27日(9時~12時)

戌の市(宝満寺)
1月23日、2月4日

駅通り会土曜朝市(アピア前駐車場)
毎月第1、第3土曜日(7時~11時)
そば処ちんたら庵(山重芝用)
毎週日曜日11時~14時

無料税務相談(志布志支所1階会議室西)
1月24日(10時~15時)